

令和 7 年度

事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで)

学校法人明德学園

目 次

I 法人の概要について

1. 基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2. 建学の理念・教育目標について・・・・・・・・	2
3. 法人の沿革について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4. 設置する学校・学部・学科等について・・・・	3
5. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について・・・・	3
6. 教職員について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
7. 理事・監事・評議員・会計監査人について・・・・	4
8. 学園の組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5

II 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2. 京都経済短期大学・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5
3. 京都明德高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・	2 5
4. 京都成章高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・	3 6

III 財務の概要について

1. 主な計算書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
2. 当該年度の決算の概要について・・・・・・・・	4 7
3. 主な教育環境の整備状況について・・・・・・	4 7
4. 財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 8
5. 主な財務比率について・・・・・・・・・・	4 9

IV 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要について

1. 関係する決議の概要について・・・・・・・・	5 0
2. 体制整備及び運用状況の概要について・・・・	5 0

V 附属明細書

・事業報告書の内容を補足する重要な事項について・・・・	5 0
-----------------------------	-----

I 法人の概要について

1. 基本情報

(1) 法人の名称	学校法人明德学園
(2) 主たる事務所	
住所	京都市西京区大枝東長町3番の1
電話番号	075-331-3877
FAX番号	075-331-3242
ホームページアドレス	https://www.kyoto-econ.ac.jp/honbu/

2. 建学の理念・教育目標について

この法人は、日蓮聖人生誕700年記念事業として本圀寺（ほんこくじ）により設立されたもので、日蓮聖人の教えを遵奉し、教育基本法及び学校教育法に従い、宗教的情操の涵養に努め、明知を以て明德を実践する国民の資質を向上せしむる教育をおこなうことを建学の精神としている。

3. 法人の沿革について

明德学園は大正10年に設置された明德女学校から出発した。学園歴は、100年を超え、学園傘下には京都明德高等学校、昭和61年開校の京都成章高等学校、及び平成5年4月に高度情報化社会の要請に応じて開学した京都経済短期大学の三校を擁して今日に至っている。

私学を取巻く社会的環境は非常に厳しいものがあるが、今一度学園の建学の精神および教育理念の意義を確認し、「明德学園は働く人づくり日本一の教育機関」をめざすことが社会的使命（責任）であるとし、経営ビジョンの柱として「生き生き働く魅力ある教職員づくり」、教学ビジョンの柱として「将来の生き方につながる職業観の育成」を掲げ、この両輪とともにそのミッションの実現に向かって鋭意努力しているところである。

この間、学園三校の卒業生総数は6万人を超え、全国各地のあらゆる分野において活躍している。母体であった明德商業高等学校は平成9年4月に「京都明德高等学校」と校名を変更して普通科を併設し、平成12年4月に男女共学とした。

さらに、男子校として開校した京都成章高等学校も平成15年4月に男女共学とし、教育の多様化に取り組み、平成26年4月には全日制課程に加えて、現役での大学進学を目指す通信制課程を併設した。

そして、令和4年に創立30周年を迎えた京都経済短期大学は、開学以来高い就職率を維持するとともに、課外講座をはじめとする四年制大学への編入対策のサポートを強化し実績をあげるなど、地域に根ざしながらもグローバル社会の中で時代に即応した人材の育成に努めている。

学園傘下の大学・高等学校とも、それぞれの教育目標に沿って順調に教育活動を行っている。

年号・年・月	法人の沿革（概要）
明治44年8月	社団法人明德学園創立

大正 1 0 年 4 月	明德女学校創立
大正 1 3 年 4 月	明德高等女学校設立認可
昭和 2 3 年 4 月	明德女子高等学校設置
昭和 2 6 年 3 月	学校法人明德学園へ組織変更
昭和 2 7 年 4 月	明德女子商業高等学校と改称
昭和 2 9 年 4 月	明德商業高等学校と改称
昭和 6 1 年 4 月	京都成章高等学校設置
平成 4 年 4 月	明德商業高等学校全面移転
平成 5 年 4 月	京都経済短期大学経営情報学科設置
平成 9 年 4 月	明德商業高等学校に普通科を併設し、京都明德高等学校と改称（収容定員 1,800 名→1,440 名）
平成 1 2 年 4 月	京都明德高等学校の男女共学化
平成 1 4 年 4 月	京都成章高等学校の学則変更（収容定員 810 名→1,200 名）
平成 1 5 年 4 月	京都成章高等学校の男女共学化
平成 2 6 年 4 月	京都成章高等学校に通信制課程普通科を併設
平成 3 0 年 4 月	京都経済短期大学の学則変更（収容定員 300 名→400 名）

4. 設置する学校・学部・学科等について

- (1) 京都経済短期大学 経営情報学科
- (2) 京都明德高等学校 全日制課程（普通科）（専門学科）
- (3) 京都成章高等学校 全日制課程（普通科） 通信制課程（普通科）

5. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について

令和 7 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	学科等	入学 定員	収容 定員	入学 者数	在籍 者数
京都経済短期大学	経営情報学科	200	400	246	451
京都明德高等学校	全日制	480	1,440	311	960
	（専門学科）	(240)	(720)	(167)	(528)
	（普通科）	(240)	(720)	(144)	(432)
京都成章高等学校	全日制	400	1,200	365	1,226
	通信制	—	300	1	39

6. 教職員について

令和 7 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	教職 員数	内 訳			
		教員		職員	
		本務	兼務	本務	兼務

学園本部 ※部門割人数（ ）を含まず	3 (12)	—	—	3 (12)	0
京都経済短期大学 ※部門割人数（ ）を含む	71 (2)	13	38	18 (2)	2
京都明德高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	96 (4)	59	24	10 (4)	3
京都成章高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	101 (6)	75	11	14 (6)	1
合 計	271	147	73	45	6

7. 理事・監事・評議員・会計監査人について

令和8年3月31日現在

◇理 事（定数13名・現数13名）

理 事 長 川 口 博

業 務 執 行 理 事

副理事長 中 村 鈴 子 小 島 理 沙

常務理事 浜 岸 和 洋 渡 邊 正 弘

理 事 平 木 真 人 村 山 宥 斗

理 事 加 藤 康 二 宮 庸 介

湯 浅 泰 正 相 根 英 樹

小 林 哲 也 中 井 正 雄

◇監 事（定数3名・現数3名）

常 勤 監 事 上 野 克 也

監 事 大 西 秀 樹 川 勝 康 行

◇評議員（定数15名・現数15名）

村 川 優 子 山 本 江里子 川 瀬 貴 之

阿 部 晃 彰 上 田 健太郎 河 本 理 栄

佐 藤 健 司 竹 永 知 子 澤 井 芳 信

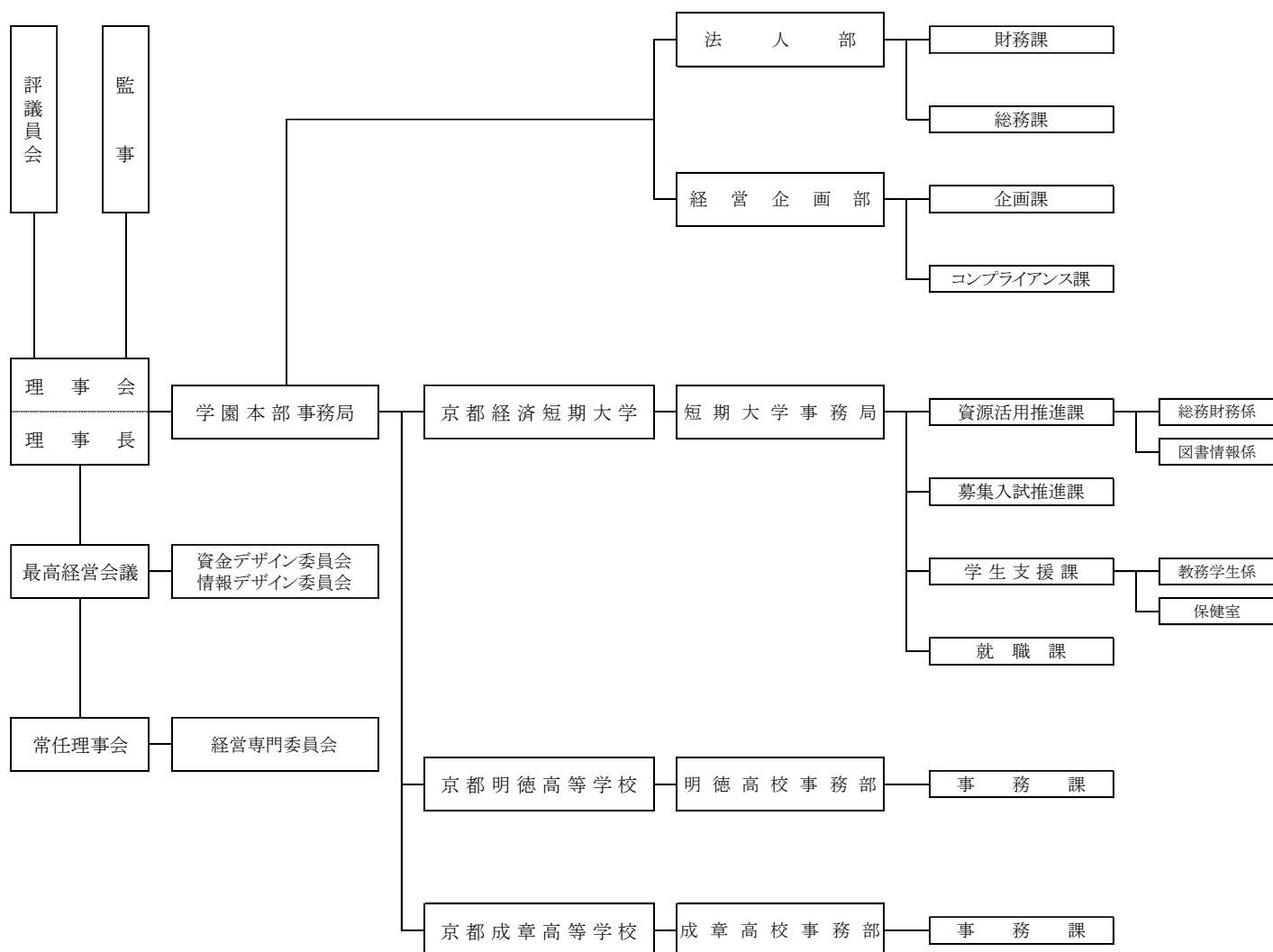
三 村 貴代美 今 枝 徳 蔵 風 間 随 修

川 口 智 康 近 藤 永太郎 早 川 日 章

◇会計監査人（定数1名・現数1名）

大手前監査法人

8. 学園の組織図



Ⅱ 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）

（1）当該年度の事業の概要について

めざすもの： 「働く人づくり日本一の教育機関」
ミッション： 「傍（はた）を楽（らく）にする人づくり」
経営ビジョン： 「生き生き働く魅力ある教職員づくり」
教学ビジョン： 「将来の生き方につながる職業観の育成」

今年度、本学園では、これまで同様、長期計画としての「明德学園、これからの10年（21）」を策定し、学園のミッション・ビジョンを全教職員に明示し、教学面・経営面ともに改革を実践しながら経営を進めてきた。

①明德学園事業計画（概要）

◇明德学園の経営

- ・「人を活かす」人的資本経営を構築する
- ・「ひとイノベーション」発生装置を企図する
- ・「スクールガバナンス」統治機構を整備する
- ・教学と経営の融合を図る「経営専門委員会」を設置する

《令和7年度 経営専門委員会》

思考力判断力表現力を生かす働き方改革委員会

- ・学園本部による各種支援体制を強化する

◇明德学園の「人づくり」

- ・「利他の心」を活かす
- ・インテグリティ（統合性）とダイバーシティ（多様性）の実現のために
- ・競争から共創へ
- ・教職員の成長が学校法人や学校の価値向上に結びつくことをめざす
- ・教育を取り巻く環境変化への対応と職務貢献に応じた賃金制度

◇「教育づくり」の支援

- ・教育力向上の取り組みを推進
- ・四部門横断的「学園として」の教職員研修会の充実を図る
- ・「面白いを創る」、感動体験を生み出す文化・スポーツ活動の推進
- ・あらゆる場を通じて「宗教する心」の涵養に努める

◇情報をデザインする

- ・見えない資産をわかりやすく伝える
- ・学生・生徒確保につながる企画広報活動
- ・学校法人のディスクロージャー制度の実施
- ・アカウンタビリティ（ステークホルダーへの説明責任）

《情報デザイン委員会の基本姿勢》

新聞広告・広報物の制作と共にHPの新鮮さを重視する

- ・正しい情報の収集に努める

◇資金をデザインする

- ・ お金に命を吹き込む
- ・ 効率的財政支出とプライマリーバランス
- ・ 奨学金や教育振興金の充実
- ・ スクールファイナンスの構築

《資金デザイン委員会の基本姿勢》

デザイン思考・ファイナンス思考を活かした安定感ある資金運用

◇監査機能の充実とコンプライアンス

- ・ 教職員としての職務能力を高めるとともに、公金管理の徹底を図る
業務監査の令和7年度重点事項 監事監査計画による。
会計監査の令和7年度重点事項 監事監査計画による。
- ・ 危機管理とコンプライアンス体制の確立のために
- ・ 仕事のあらゆる場面を通じて人権感覚を高めるための工夫を図る

◇ファシリティマネジメントの構築

- ・ 戦略的施設の取得と管理
- ・ 現有施設・設備の有効活用とその姿勢

《令和7年度 重点整備》

100年法人にふさわしい施設設備の取得をおこなう。

◇明德学園のこれからをデザインする

- ・ 将来構想と連動した働き方改革
- ・ 公費私学のあり方をデザインする

②主な事業内容

私学経営には戦略が不可欠である。学園本部には、事務局としての役割だけに留まらずに、経営戦略機能を有する「経営事務局」としての役割を強化していくことが求められている。その目的を達成するために、学園本部内に総務・財務・管財の三大定型業務を中心とした法人部と、募集広報（HP）活動から監事監査等まで幅広い支援ができる非定型業務の経営企画部との二部を配置し、また、最高経営会議直轄の情報・資金両デザイン委員会を通じて、本年度は以下のような事業を展開した。

◇理事会の開催（全14回）

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議し意思決定を行った。

〈主な議案〉

- ・ 明德学園グランドデザイン長期計画「明德学園、これからの10年（21）」
- ・ 令和7年度明德学園監事監査計画
- ・ 令和7年度明德学園人事委員会委員の選任
- ・ 令和7年度個人情報保護委員会委員の選任
- ・ 令和7年度ハラスメント防止委員会委員の選任
- ・ 令和6年度事業報告

- ・令和6年度収支決算
- ・新理事候補等の選任
- ・評議員会の議案決定
- ・新理事、監事ほかの選任
- ・会計監査人報酬
- ・春闘要求書に対する回答案
- ・令和7年度年間賞与
- ・令和7年度補正予算編成方針
- ・令和7年度補正予算
- ・令和7年度最終補正予算
- ・令和8年度予算編成方針
- ・令和8年度明德学園管理職人事
- ・令和8年度事業計画
- ・令和8年度当初予算
- ・明德学園創立記念奨学生、島正博奨学生、川口博奨学生、京都経済短期大学教育後援会創立記念奨学生、京都経済短期大学経営・情報学会奨学生の決定
- ・明德学園教育振興金及びハタ・ラク人づくり研究金の決定
- ・松本学昭教育奨励金の決定
- ・学則変更
- ・諸規程、規則等の改廃及び制定
- ・中期財政計画
- ・教職員の採用及び異動人事
- ・役員の異動人事
- ・その他

◇評議員会の開催（全4回）

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点、第三者からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議した。

〈主な議案〉

- ・令和6年度事業報告
- ・令和6年度収支決算
- ・令和7年度補正予算
- ・令和7年度学事報告
- ・令和7年度最終補正予算
- ・令和8年度事業計画
- ・令和8年度当初予算
- ・新理事候補への意見聴取
- ・役員等の報酬等の支給基準に関する規程の改正
- ・新評議員の選任

- ・新監事の選任
- ・中期財政計画

◇教学と経営の融合

業務執行機関のスタッフ組織として、理事・教員・職員により構成されている経営専門委員会について、令和7年度は「思考力判断力表現力を生かす働き方改革委員会」が設置された。その答申の概要は以下の通りである。

- ・はじめに
- ・能力活用と制度設計の関係性
- ・学園内職種別の課題と着手可能な制度的対応
高校教員 短大教員 職員
- ・これからの制度改革の方向性
 - (1) 教職員の成長支援と組織健全性を両立する人事・評価制度の再設計
○成長循環型の評価制度と柔軟な雇用設計の実現に向けて
 - (2) 自律性と協働を支える職場・労働環境づくり
 - 提案・意見交換の場の整備
 - 管理職研修の充実
 - キャリア形成支援の強化
 - ウェルビーイング施策の推進
- ・おわりに

◇研修会の実施

ア) 学園研修・懇親会

本学園は、学園のミッション・ビジョンの実現を目指し、学園創立記念日に、全部門の教職員が一堂に会した横断的な研修会として、明德学園発祥の地(柿本町)にある京都東急ホテルにて毎年、「明德学園研修・懇親会」を開催している。今年度は節目となる20回目の開催であった。「経営専門委員会中間報告」や新たに参加者がアウトプットする機会となる「チームミーティング」など、以下のようなプログラムで実施した。

日 時 : 令和7年10月23日(木)

場 所 : 京都東急ホテル「葵の間」

テーマ : 「今を磨き、未来を拓く教育へ」

次 第 :

第1部 研修会		司会 : 村山宥斗・相根英樹
13:00～	開会挨拶	理事長 川口博
13:10～	経営専門委員会 中間報告「思考力判断力表現力を生かした働き方改革委員会」 委員長 小島理沙、梅田裕介、矢野晴子、面村裕也、榊誠也	
13:40～	休憩	

14：00～	チームミーティング説明 副理事長 小島理沙、本部長 相根英樹
14：15～	第1ラウンド
14：50～	第2ラウンド
15：25～	第3ラウンド
15：55～	休憩
第2部 表彰式 司会：平木真人	
16：15～	永年勤続表彰（30年・10年）／松本学昭教育奨励金表彰
16：45～	休憩（表彰者記念撮影）
第3部 懇親会 司会：芦田菜摘・江邊康平	
17：05～	懇親会 料理紹介 京都東急ホテル総料理長 田面山博憲 氏
17：10～	乾杯 評議員 今枝徳蔵 氏
18：35～	閉会挨拶 常務理事 渡邊正弘

イ) 職員研修会

本学園では、職員としての資質の向上を目指し、知識を得るだけでなく、教養を深めるために一流に触れる機会や、職員相互の信頼関係を構築するため、交流する機会を設けてきた。

今年度は「生成 AI に触れ、仕事で頼れるパートナーにしよう」をテーマに、Microsoft 社の生成 AI「Copilot」を取り上げ、基本的な使い方から活用のコツまでを実践的に学んだ。参加者はグループで意見交換しながら、他部門の職員との交流のなかで新たな気づきも得られ、今後はファクトチェックや個人情報の取り扱いに注意を払いつつ、AI の業務への活用を模索していく。

◇情報をデザインする

・学園広報誌「学園四季」の発刊

学園ミッション・ビジョンを体現している教育・研究実践など、学園の见えない資産を広報している。連載企画として京都経済短大の教員の教育研究活動を紹介する「ハタ・ラク研究室」や、両高校のクラブ活動を紹介する「クラブ探訪記」のほか、特集記事として、学園独自の給付型奨学金、学園の財務状況、学園研修懇親会、卒業生インタビューなどを掲載した。

・創立記念新聞広告の掲出

創立記念日の10月23日に、京都新聞と朝日新聞（京滋版）の朝刊に、全15段カラーの新聞広告を掲載した。各校を代表する教員3名と「本質をつかみ、直感を活かす。」というコピーで、異質な組み合わせが新しい何かを生み出す「ひとイノベーションの明德学園」の世界観を表現した。

・学園 Web サイトの更新

事業報告や学園独自の奨学金情報等を随時更新した。

・学内広報誌「学内ニュース」の発行

学内教職員を対象に、タイムリーな告知、情報共有等を目的に発行した。

◇情報の公開

アカウントビリティ（ステークホルダーへの説明責任）を目的とし、信頼される重要な情報として財務情報・事業報告を積極的に公開した。今後も個人情報をはじめとした保護すべき情報には十分配慮しつつも、必要な情報公開に努める。

◇情報管理と活用

各学校で情報発信ツールとして活用している Web サイトについて、本部情報担当者が内容の充実と運用の利便性向上を支援した。

また、京都経済短期大学のシステム運用委員会に参加し、システム環境全般の整備に寄与したほか、ネットワークの利用状況を定期監視し、通信の停止や過大通信、その他セキュリティに関わる異常通信の兆候があればその対応支援を行った。

さらに、今年度から各部門の情報システム担当者による「情報システム委員会」を設置した。情報セキュリティなどの情報をタイムリーに共有することが可能となり、各部門での運用に生かせるようになった。

◇資金をデザインする

・スクールファイナンスの構築

「お金に命を吹き込む」ことをめざし、補助金等の外部資金の獲得や戦略的財務資金運用により、収入増加を図り、経営基盤の強化に努めた。

・効率的財政支出に向けての取り組み

予算編成においてプライマリーバランスや財務比率によるマネジメントを重視し、各部門間での共同購入や共同利用等の工夫を心掛け、効率的な財政支出に努めた。

・学園創立記念奨学金の充実

今年度も京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校の学生・生徒に対して、返済義務のない給付型奨学金の給付を実施した。昨年度から質的向上を図るため一人当たりの給付額を増額し、成績優秀者 117 名に 12 万円、更に成績優秀かつ経済的援助を要する学生生徒 3 名に 7 万円を給付した。

・島正博奨学金制度

令和元年度、本学園初代名誉理事長である島正博氏（株式会社島精機製作所会長）の過去の功労に感謝すべく新たな奨学金制度を創設した。今年度は基準を満たす学生・生徒計 14 名に対し、一人当たり年間 20 万円を支給した。

・川口博奨学金制度

川口博理事長からの 100 周年記念寄付金を原資として新たな奨学金制度を創設、基準を満たす学生生徒計 9 名に対し、一人当たり年間 20 万円を支給した。

・京都経済短期大学 経営・情報学会奨学金

京都経済短期大学 経営・情報学会からの創立 100 周年寄付をもとに令和 3（2021）年度創設、成績優秀かつ経済的に学費援助を要する京都経済短期大学の学生 4 名に対し、一人当たり年間 15 万円を支給した。

・明德学園教育振興金の充実をはかる

学生・生徒に感動体験を生み出す文化・スポーツ活動を推し進める取り組みとして、京都明徳高校のダンス部、京都成章高校のバドミントン部、写真部、女子ラグビー部、男子ラグビー部に、そして、教育振興を図るための職員研修の取り組みとして、職員研修委員会に支給し、活動の支援を行った。

- ・松本学昭教育奨励金の支給

この奨励金は、松本学昭名誉理事長からの寄付を原資とする運用果実を利用し、明徳学園の建学の精神を生かし、優れた業績を上げた者をたたえるために平成28年度に設けられた。今年度は、全部門から教員2名、職員2名に対し奨励金を支給し、その功績をたたえた。

- ・明徳学園ハタ・ラク人づくり研究金の活用

ミッション・ビジョン実現のため、ハタ・ラク人づくり研究ならびに実践活動を推進するための基金を設け毎年、明徳学園 研修・懇親会の費用、約250万円とみらい授業研究費を支給している。とりわけ、みらい授業研究費は、本学園の教職員が、学生生徒の未来に役立つ授業を開発・実践することで、ひいては本学園の教育力の向上に寄与すると認められるものに対する助成で、今年度は3件が採用され、4人の教職員に計40万円の研究費を支給した。

- ・「お金に命を吹き込む」資金運用

前述の学園独自の返済義務のない各種奨学金、教育振興金、奨励金、研究金等は、すべて資金運用の運用果実により賄っている。そのための資金運用のポートフォリオをデザインし、その充実にむけてフローからストックへ更に重点をシフトさせ実現してきた。このように「お金に命を吹き込む」ことの重要性の認識と工夫により億単位規模の安定収入をはかるべく、「資金デザイン委員会」では、金融商品案件の検討会議を行うほか、研修会にも参加し能力の向上に努め、学生生徒の経済的支援と教職員の生活の向上に寄与した。

◇法務・コンプライアンス体制の確立に向けた取り組み

予防法務機能として、各部署からの法務に関する相談、諸契約に係る条項のチェック、規程等の改定提案、新規制定法令や改正法令の告知等を行った。また、紛争処理・対処機能として、法的問題が生じた際の解決支援や弁護士との連携及び官公庁への対応等を行った。

◇監査の実施

学校法人の価値向上を目的とし、学校としての視点から学園としての視点、各機関から独立した立場をもって、業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について適正かつ効率的な運営に資するために以下の事項について監査を行った。

今後も引き続き本学園のミッション・ビジョンに沿った運営が円滑に遂行できるよう内部統制システムの整備を図るとともに、教職員の公金管理に関する意識の向上及びステークホルダーに対する説明責任を果たしていく。

また、学園全部門における業務内容を横断的に把握することで学園財産の保全及び業務の活性化へと繋げていく。

〈令和 7 年度実施監査〉

内部 監事 監査	第 1 回	令和 6 年度京都明德高等学校・京都成章高等学校クラブ活動に係る収支状況及び活動状況・管理体制について 日程：R7.7.7、7.9、7.10、7.14、7.15、7.17、7.25、7.28、7.31、8.20、9.2
	第 2 回	令和 6 年度京都経済短期大学科学研究費補助金の管理状況について 日程：R7.10.1、10.15
	第 3 回	高校における教員の持ちコマ数に係る管理運営状況について 日程：R7.11.12
	第 4 回	学園本部・京都経済短期大学・京都明德高等学校における諸規程の点検、順守具合及び各部門の取り組みについて 日程：R8.1.16、1.19、1.27
	第 5 回	令和 6～令和 7 年度京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校各周辺団体に係る収支・管理状況について 日程：R8.2.19、2.24、3.3、3.4、3.5
監査 法人 監査	令和 6 年度 期末監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R7.4.11 R7.5.19、5.20、5.21
	令和 7 年度 期中監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R7.11.20、11.21 R8.2.25、2.26、2.27

◇ファシリティマネジメント

明德学園では、「総合的な施設設備活用を進め、その取り組みを通じて学生・生徒や教職員がともに『施設を美しく使う』、『モノを大切にする』心を育み、また、良いモノを安く提供いただける企業との良好な関係を築くこと」をファシリティマネジメントの柱と位置づけ、推進している。

今年度の代表的なものとして、京都経済短大では体育館音響設備更新及び、事務局 P C の購入等、京都明德高校では東校舎南側 4 階トイレ改修工事及び、コンピュータ室 2 更新工事等、京都成章高校では教職員用 P C 及び無線 A P 更新、体育館用ステージ更新等が行われた。また、100 周年記念事業としての新たな不動産に関する情報収集等も継続して行っている。

(2) 中期的な計画の進捗・達成状況

単年度事業の遂行において、常に中期財政計画と対比させつつ進めている。

(3) 今後の課題について

各校がそれぞれの独自性を活かしながら、積極的にミッション・ビジョンの実現に

向けた取り組みを進めていこうとしているなか、喫緊の課題としては15歳、18歳人口減少下での学生生徒募集があげられる。同時に、よりよい学校づくり、教育づくりの担い手である教職員の人材確保と育成、そして教職員が働く環境づくりもあげられる。これらは学園財政やブランドにも直結する大きな経営課題である。既成の概念にとらわれることなく様々な工夫を凝らし、学園としてこれらの課題解決に取り組んでいかなければならない。

2. 京都経済短期大学

(1) 当該年度の事業の概要について

- ・教員の教育研究力向上に向けてFD活動を推進し、ITツールを活用した授業設計や、生成AIを踏まえた教育活用についての理解を深めた。また、個人研究費における教員活動評価ポイントについては、ワーキンググループを中心に見直しを行い、本年度より運用を開始した。
- ・学内システムのセキュリティ対策強化として、サーバおよび学内PCにEDRを導入し、セキュリティ調査を実施した。調査結果を踏まえ、次年度のネットワークリニューアル設計に反映していく。
- ・キャリア教育の全学的な取り組みとして、基礎ゼミナールにおいてキャリアに関する共通ワークを実施し、早期段階での学修意欲向上を図った。さらに、学生が自身の人生の学習計画を立てられるよう「ラーニングデザインノート」を作成し、次年度よりキャリアプランニングⅠ（必修科目）および基礎ゼミナールで活用していく。
- ・留学生数の増加に伴い、留学生サポートの仕組みを導入し、学修支援を行った結果、在籍する留学生全員が卒業に至った。また、次年度に向けて日本語能力向上を支援する制度の整備を進めている。

(2) 入学志願者数、受験者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

志願者数：329名

受験者数：324名

合格者数：317名

入学者数：223名

(3) 卒業者数、学位授与数等の状況について

179名（前期卒業2名含む）

(4) 学生の就職・進学状況について

1) 就職

【建設業】株式会社アイダ設計（事務職）

【製造業】株式会社フジタ（事務職）▽株式会社ユキオー（製造職）▽野崎印刷紙業株式会社（営業職〈総合職〉）▽株式会社Fujitaka（営業職〈総合職〉）▽京セラ株式会社（事務職）▽株式会社テックワーク（事務職）▽三恵工業株式会社（製造職）▽ダイハツ工業株式会社（製造職＝2人）▽三栄工業株式会社（事務職）

【情報通信業】株式会社テクノプロ〈テクノプロデザイン社〉（技術職）▽エクセルコンピュータサービス株式会社（技術職）▽サービス&セキュリティ株式会社（技術職＝2人）▽株式会社ソフタスバリューコネクト（技術職）▽株式会社Nextat（技術職）▽株式会社コスモネット（営業職〈総合職〉）▽由利ロール株式会

社（事務職）

【運輸業】日本交通株式会社（輸送職）▽京都丹後鉄道（WILLER TRAINS 株式会社）（営業職〈総合職〉）▽株式会社サカイ引越センター（営業職〈総合職〉）▽エムケイグループ（輸送職）▽シモハナ物流株式会社（事務職）▽つばめグループ（事務職）▽近畿日本鉄道株式会社（輸送職）▽ロジスティード西日本株式会社（営業職〈総合職〉＝2人）▽日の丸自動車株式会社（サービス職）▽大阪市高速電気軌道株式会社（輸送職）▽株式会社サカイ引越センター（営業職〈総合職〉＝2人）▽日本交通株式会社（営業職〈総合職〉）

【卸売業】株式会社京都スパーサー（営業職〈総合職〉）▽京都青果合同株式会社（事務職＝2人）▽株式会社ハウステック（営業職〈総合職〉）▽株式会社フロンティア（事務職）▽小西医療器株式会社（営業職〈総合職〉）▽株式会社ヤナセ（事務職）▽三光機工株式会社（事務職）▽株式会社増田医療器械（営業職〈総合職〉）▽エナジーサプライ株式会社（営業職〈総合職〉）▽株式会社ハヤシ（事務職）▽株式会社ヤナセ（事務職）

【小売業】エバグリーン廣甚株式会社（営業職〈総合職〉）▽ゲンキー株式会社（営業職〈総合職〉＝2人）▽株式会社スズキ自販滋賀（事務職＝2人）▽ネッツトヨタ愛媛株式会社（事務職）▽株式会社コスモス薬品（営業職〈総合職〉＝2人）▽パルクローゼット（株式会社パル）（販売職）▽株式会社トライアル（営業職〈総合職〉）▽株式会社万代（営業職〈総合職〉）▽株式会社マッシュホールディングス（販売職）▽クオール株式会社（事務職＝3人）▽エステールホールディングス株式会社（販売職）▽株式会社スズキ自販京都（営業職〈総合職〉）▽株式会社クスリのアオキ（営業職〈総合職〉＝5人）▽株式会社コックス（販売職）▽株式会社スギ薬局（営業職〈総合職〉）▽株式会社関西ケーズデンキ（販売職）▽株式会社イング【INGNI】（販売職）▽ピアス株式会社（販売職）▽株式会社ファルコファーマシーズ（事務職）▽株式会社ウィゴー【WEGO】（販売職）▽株式会社ハートフレンド[フレスコ]（販売職＝2人）▽株式会社ファーマみらい（事務職）▽トヨタL&F近畿株式会社（事務職）▽株式会社大黒商会（修理職）▽MXモバイリング株式会社（営業職〈総合職〉）▽株式会社ユタカファーマシー（営業職〈総合職〉）▽株式会社ひごペットフレンドリー（営業職〈総合職〉）▽夢計画株式会社（営業職〈総合職〉）▽HYSTERIC GLAMOUR（販売職）▽株式会社いーふらん（営業職〈総合職〉）

【金融業】株式会社京都銀行（営業職〈総合職〉）▽明治安田生命保険相互会社（営業職〈総合職〉）▽近畿労働金庫（営業職〈総合職〉）▽しがぎんビジネス株式会社（事務職＝2人）▽しがぎん代理店株式会社（事務職＝3人）▽高島屋ファイナンシャル・パートナーズ株式会社（営業職〈総合職〉）▽第一生命保険株式会社（営業職〈総合職〉）▽岡三証券株式会社（営業職〈総合職〉）▽大川信用金庫（事務職）

【不動産業】株式会社エム・ジェイホーム（営業職〈総合職〉）▽賃貸住宅サービス（株式会社グラート）（営業職〈総合職〉）▽株式会社エルハウジング（営業職〈総合職〉）▽株式会社エルアイシー（営業職〈総合職〉）▽株式会社ジェイ・エス・

ビー（営業職〈総合職〉＝2人）▽株式会社And Doホールディングス（営業職〈総合職〉）▽株式会社京都ライフ（営業職〈総合職〉）

【物品賃貸業】高石機械産業株式会社（事務職）

【宿泊業、飲食サービス業】アーバンホテルシステム株式会社（サービス職）▽株式会社イチバン・コーポレーション（営業職〈総合職〉）▽株式会社紫野和久傳（営業職〈総合職〉）▽株式会社カトープレジャークルーズ（サービス職）▽株式会社GenkiGlobalDiningConcepts（営業職〈総合職〉）▽株式会社京都プラザホテルズ（サービス職）▽Roxxy-KyotoHotel合同会社（サービス職）▽アーバンホテルシステム株式会社（サービス職）▽くら寿司株式会社（営業職〈総合職〉）▽株式会社センダン（サービス職）▽株式会社リブ・マックス（サービス職）▽ホテルニューアワジグループ（サービス職）

【生活関連サービス業、娯楽業】株式会社ボディワークホールディングス（サービス職＝2人）▽TBCグループ株式会社（サービス職）▽ワタベウェディング株式会社（サービス職）▽株式会社エフアイ（サービス職）▽株式会社AILE（サービス職）▽株式会社クリア（サービス職）▽株式会社ソシエ・ワールド（サービス職）▽株式会社LadyBird LACOCO・銀座グラティア（サービス職）

【教育、学習支援業】成基コミュニティグループ（営業職〈総合職〉）

【医療、福祉】洛和会音羽病院（事務職）▽淡海医療センター（事務職）▽独立行政法人国立病院機構（事務職）▽みなみ整形・痛みのクリニック（事務職）▽医療法人雄風会あしもりクリニック（事務職）▽洛和会ヘルスケアシステム（サービス職）▽社会福祉法人おとり福祉会（サービス職）▽医療法人医誠会（事務職）

【複合サービス業】JAグリーン近江（営業職〈総合職〉）▽JA全農しが（事務職）▽JA福井県（営業職〈総合職〉）▽奈良県農業共同組合（営業職〈総合職〉）

【サービス業】株式会社3k（営業職〈総合職〉）▽株式会社free mova（営業職〈総合職〉）▽株式会社Genova（営業職〈総合職〉）▽パーソルテンプスタッフ株式会社（funtable）（事務職）▽株式会社Evand（営業職〈総合職〉）▽株式会社NECT（営業職〈総合職〉）▽株式会社Oneswill（営業職〈総合職〉）▽株式会社スタッフサービス（事務職）▽株式会社プレステージ・インターナショナル（サービス職）▽株式会社プロニクス（技術職）＝2人▽株式会社マーキュリー（営業職〈総合職〉＝4人）▽株式会社日本マニファクチュリング（製造職）▽株式会社マーキュリー（営業職〈総合職〉）▽株式会社iDA（アイ・ディ・エー）（販売職）株式会社万協（営業職〈総合職〉）▽株式会社ARIKI（営業職〈総合職〉）

【公務】滋賀県警察（保安職）▽鳥取労働局（事務職）▽京都府（事務職）▽舞鶴市（事務職）

2) 編入学

【国公立】

香川大学・経済学部▽埼玉大学・経済学部▽滋賀大学・経済学部▽東京外国語大学・言語文化学部▽和歌山大学・経済学部＝2名

【私立】

追手門学院大学・経営学部▽追手門学院大学・経済学部＝2名▽大阪学院大学・経営学部＝2名▽大阪学院大学・情報学部＝2名▽大阪産業大学・経営学部＝2名▽関西大学・総合情報学部＝2名▽関西外国語大学・外国語学部＝2名▽京都外国語大学・国際貢献学部▽京都産業大学・経営学部＝3名▽京都産業大学・経済学部＝2名▽京都文教大学・総合社会学部＝3名▽東京経済大学・経営学部▽桃山学院大学・経営学部＝2名▽桃山学院大学・ビジネスデザイン学部▽龍谷大学・経営学部

(5) 今後の課題について

- ・社会科学系短期大学としてのポジショニング確立と認知の拡大に向けた全学的な取り組み
- ・学内システムのセキュリティ対策の継続的強化と教育・研究環境の利便性向上と持続可能な運用体制の構築
- ・本学の将来を見据えた人材確保と能力開発
- ・コース・ユニット再編の全学的な視点での検討
- ・留年者および退学者の減少に向けた学生支援体制の構築
- ・学生の AI 利用に関する方針等の検討

(6) その他

1) 教育活動

- ・通常授業
前期、後期ともに、法令で定められた授業数を実施することができた。
- ・定期試験
前期、後期ともに、滞りなく実施した。
- ・ゼミナール活動
研究・発表・討論等を行なうゼミナールを、校外活動、地域連携、フィールドワーク等、様々な形式で実施した。また12月には、全学生参加によるゼミナール研究発表会を以下の通り実施した。(発表順)

ゼミ名	テーマ
小路ゼミ	生成AIによるゲーム制作
小島ゼミ	MBTIの感情型と論理型の仕組み
加藤ゼミ	花火のサプライチェーン
伏見ゼミ	半期報告書の役割と活用方法
高橋ゼミ	働きやすさについて
高阪ゼミ	ビギナーズラックが存在するのか
植田ゼミ	持続可能なバレーボールチーム経営の比較
岡村ゼミ	背景色が商品の印象評価に及ぼす影響
河口ゼミ	アニメはどのような経済効果を及ぼしているのか
森崎ゼミ	知的活動をサポートする総合デザインの研究
今橋ゼミ	プロ野球と地域のつながりスポーツと地域経済

近藤ゼミ	産学連携における共同企画・制作と販売イベントの収益構造ー京銘竹・金欄・京味噌の三事例ー
プロジェクト演習 (河口)	京都の観光調査

・京都明徳高等学校との連携事業

高短連携講義を実施

商業科 3 年生 100 名に対して毎週水曜日に本学にて実施した。本学専任・常勤教員がそれぞれの専門性を活かしてオムニバスにて講義を行い、本学での学びの全体像を高校生に理解させながら、各専門分野に対して生徒たちが自ら興味・関心領域の発見を見出すことに主眼を置いて実施した。

高短連携科目等履修生の受入

短大の正課科目である秘書実務検定対策講義や販売士検定対策講義も開放し高校生が受講した。

2) 行事等

日程	内容
0 4 月 0 1 日 (火)	入学式、オリエンテーション
0 4 月 0 2 日 (水)	オリエンテーション、履修登録、避難訓練
0 4 月 0 3 日 (木)	履修登録、基礎ゼミ交流会、ふるさと会、留学生集会
0 4 月 0 4 日 (金)	履修登録
0 4 月 0 7 日 (月)	授業開始
0 4 月 0 9 日 (水)	特待生集会
0 4 月 1 6 日 (水)	新入生歓迎会、高短連携講義開始
0 5 月 0 8 日 (木)	健康診断
0 5 月 1 1 日 (日)	オープンキャンパス
0 5 月 1 2 日 (月) ～ 0 5 月 3 0 日 (金)	1 回生個人面談
0 5 月 1 4 日 (水)	スポーツ大会①
0 5 月 2 1 日 (水)	スポーツ大会②
0 5 月 2 4 日 (土)	教育後援会総会、同窓会総会
0 6 月 0 4 日 (水)	ハラスメント防止講演会
0 6 月 1 4 日 (土)	日本語検定
0 6 月 1 5 日 (日)	オープンキャンパス
0 6 月 2 9 日 (日)	編入学模試
0 7 月 0 4 日 (金)	WEB オープンキャンパス
0 7 月 1 2 日 (土)	補講日
0 7 月 1 9 日 (土)	オープンキャンパス
0 7 月 2 4 日 (木)	基礎ゼミナール合同授業

07月28日(月) ～08月01日(金)	前期定期試験
08月08日(金)	前期成績発表
08月17日(日)	オープンキャンパス
08月19日(火)	推薦編入学面接
08月20日(水)	障害者差別解消法研修会
08月22日(金)	単位僅少者面談
09月06日(土)	入試説明会
09月13日(土)	入試
09月18日(木)	前期 卒業証書・学位記授与式
09月22日(月)	後期オリエンテーション、留学生交流会
09月24日(水)	後期オリエンテーション、スポーツ大会
09月25日(木)	後期授業開始
09月28日(日)	教育後援会役員会
10月22日(水)	明德学園奨学金授与式
10月25日(土)	秋華祭
11月01日(土)	入試
11月15日(土)	入試
12月06日(土)	保護者保証人様対象進路説明会
12月13日(土)	入試
12月18日(木)	ゼミナール研究発表会
01月17日(土)	補講日
01月22日(木)	シラバスFD
01月25日(日)	WEB入試説明会
01月28日(水)	開学記念日振替(終日休講)
01月29日(木) ～02月04日(水)	後期定期試験
01月29日(木) ～02月04日(水)	後期定期試験
02月07日(土)	入試
02月21日(土)	入試
03月10日(火)	入試
03月17日(火)	卒業証書・学位記授与式、卒業を祝う会
03月25日(水)	入試
03月28日(土)	オープンキャンパス

3) 学生指導・支援活動

- ・学生の実態把握に努め、問題点の見直し・改善を図った。
- ・進路指導について、教員・職員で、対面指導により生活指導面も含めてきめ細

かに対応した。編入学対策としては、編入対策科目に合わせて個別指導、面接対策等の指導を行った。

4) 研究活動

- ・教員の授業力向上に寄与させるべく前期・後期に講義アンケートを実施した。
- ・研究紀要『京都経済短期大学論集』を発行することで研究発表の場を確保した。
- ・経営・情報学会を通じて研究会を開催し、専任教員および特任講師による研究報告会を年2回実施した。

氏名	テーマ
今橋 裕	日本製造業における B to B 率及び研究開発多角化と収益性の関連性分析
植田憲司	メディアテクノロジー環境におけるメディア表現に関する研究
岡村靖人	社会的認知, 学校適応
加藤 康	サプライチェーンにおける倉庫の機能
河口和範	グローバル・バリュー・チェーンの進捗度とその影響
高阪勇毅	編入学試験対策としての経済学指導法
小島理沙	サーキュラーエコノミー
佐藤健司	人間関係マネジメントの分析とディーセント・ワークの研究を踏まえた安心・安全な働き方の研究
小路真木子	画像分析ツールの開発
高橋和志	セルフヘルプ・グループのマネジメント
伏見康子	簿記会計教育に関する研究
森崎巧一	印象評価および画像解析を用いたデザイン評価手法の研究
片山康彦	短大における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の融合

[学術論文、学会発表等]

氏名	論文等の名称
今橋 裕	① Relationship between profitability and US firm strategies for research and development intensity and capital investment 【International Journal of Technology Management, 2025 Vol.99 No.1/2, pp.1 - 22】 ② 日本製造業における異業種間競争による新産業の創出【第74回 日本経営システム学会全国研究発表大会（場所：東京・東京大学）（2025年度春期大会）】 ③ 西陣織における海外ブランドとの融合に関する事例研究【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】 ④ 製造業における異業種間競争による新産業の創出～宇宙開発分野の特許調査による一考察～【研究・イノベーション学会第40回年次学術大会（Web開催）】

植田憲司	繭のアルス【日本記号学会第45回大会】
岡村靖人	社会行動への無意識的影響【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
加藤 康	① 教職員連携が支える短大の大学教育【『短期大学教育』第81号】 ② サプライチェーンの動向【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
河口和範	中国が主導権を取るラオスの現状【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
小島理沙	① 使用済みPETボトルリサイクル市場の構造変化・飲料PETボトルの水平リサイクルの影響【環境経済政策学会発表論文】 ② 資源循環と連携について①【月刊廃棄物8月号】 ③ 資源循環と連携について②【月刊廃棄物9月号】 ④ 廃棄物対策の変遷と未来への展望【月刊廃棄物10月号】 ⑤ 使用済みPETボトルリサイクル市場の構造変化【環境経済政策学会】 ⑥ フランス拡大生産者責任制度の特徴～日本で制度化されていない品目に着目して～【環境経済政策学会】
佐藤健司	日本企業における働き方の構造【京都経済短期大学論集】
小路真木子	① シルエット分析用Pythonモジュールの開発【京都経済短期大学論集】 ② 入試問題用LaTeXマクロの改良【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
高橋和志	セルフヘルプ・グループの組織論的考察【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
伏見康子	① IFRS適用の実践的課題—研究開発をめぐる会計問題を中心に—【グローバル会計研究、第7号】 ② サステナビリティの時代における会計教育【会計】 ③ 開発費をめぐる会計基準の課題【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】 ④ IFRS適用の実践的課題—欧州委員会の研究開発を巡る会計問題を中心として—【グローバル会計学会第8回大会】
森崎巧一	① A Practical Study on STEAM Education Using Toy Drones and Scratch: Promoting Engagement through Playful Learning Design【京都経済短期大学論集】 ② Comprehensive Design Education Blending Learning and Enjoyment: An Edutainment-Based Practice and Reflection【京都経済短期大学論集】 ③ シルエット分析用Pythonモジュールの開発【京都経済短期大学論集】

	期大学論集】 ④ 情報デザイン教育を支援する教材開発の実践事例【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
--	--

[外部研究資金獲得] (競争的資金獲得)

氏名	研究テーマ (代表研究者名)	研究項目 (文科省科研費等)
高阪勇毅	① 現先間裁定関係による市場効率性の計測 (研究代表者: 高阪勇毅) ② 軍事リスク問題の経済学的解明: 日本とイスラエルの比較分析 (研究代表者: 筒井義郎)	文科省科研費基盤研究 (C) 国際共同研究加速基金 (海外連携研究)
森崎巧一	印象評価と画像解析を用いたデザイン画像の独創性分析とその可視化システムの開発	文科省科研費基盤研究 (C)

[公的委員会]

氏名	内容
植田憲司	① 日本記号学会 理事・副事務局長 ② 京都現代写真作家展 実行委員 (京都府) ③ 京都府職員ふれあいフェスタ 2025 (写真の部) 審査員 (京都府)
加藤 康	京滋私立短期大学協会副会長
小島理沙	① 日本包装学会 編集委員 ② 環境経済政策学会 2025年年次大会 プログラム委員 ③ 環境省 中央環境審議会 専門委員 ④ 環境省 (MRI) 廃家電4品目の回収率の向上に向けた検討会 委員 ⑤ 経済産業省 電気・電子機器リサイクルワーキンググループ 委員 ⑥ 京都市廃棄物処理施設設置等検討会議 委員 ⑦ 京都市環境影響評価審査会 委員 ⑧ 豊中市環境審議会 委員 ⑨ 豊中市廃棄物減量等推進審議会 委員 ⑩ 堺市廃棄物減量等推進審議会 委員 ⑪ 神戸市環境保全審議会 委員 ⑫ 高槻市廃棄物減量等推進審議会 委員

	⑬ 明石市環境審議会委員 ⑭ 大阪府環境審議会専門委員 ⑮ 大阪市廃棄物減量等推進審議会 委員 ⑯ 神戸市ごみ収集運搬管理システムにかかる落札者決定基準の意見業務
高橋和志	株式会社 ZTV 放送番組審議会 議長
伏見康子	① 国際会計研究学会 第 42 回研究大会 準備委員 ② 高槻市こども会連合会 監事

[学術団体の理事]

氏名	団体名等
植田憲司	日本記号学会 理事・副事務局長
小島理沙	日本包装学会 理事

[講演会]

氏名	活動・講演の概要
植田憲司	XR Meetup Kyoto #1 基調講演「アーカイブから再創造へーデジタル文化資源の新しい可能性と「上演」としてのキュレーション」(主催：京都府京都文化博物館、京都歴史文化施設クラスター実行委員会、KYOTO 地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会、日時：2025 年 9 月 28 日、会場：京都文化博物館)
加藤 康	京都府立高校進路指導研究協議会研修会にて講演
小島理沙	① 市町村アカデミー 専門実務家庭講座 廃棄物の処理とリサイクルの推進 ～これからの資源循環を考える～ 講義・演習 講師 ② CLOMA 未来のデザインプログラム 講評 ③ 神戸大学シンポジウム 食品ロスの真実～未来を変える選択～ ファシリテーター ④ 西宮市 2025 環境まちづくりフォーラム 講師

5) 管理・運営等

学長のリーダーシップのもと 13 回の定例教授会を開催した。さらにその調整機能を果たす執行部会も、各委員会や事務組織との連携を図りながら開催した。これにより、教育・研究活動が円滑に進んだ。

[各委員会組織名]

教授会、執行部会、人事委員会、教学委員会、募集入試委員会、就職委員会、図書・学会委員会、自己点検・認証評価委員会、システム運用委員会、留学生委員会(教学委員会に包括)、ハラスメント防止委員会、洛西・地域研究センター

3. 京都明徳高等学校

(1) 当該年度の事業概要について／今後の課題

令和7年度は、ブルーオーシャン戦略を進める本校において、その特徴が数字に表れた年であった。

3年前に新設したスポーツマネジメントコースは「スポーツをビジネスする視点で捉える」というコンセプトのもと、学びを学内に留まらず学外に広げ、企業・大学との連携を強めていった。生徒たちは、新しい学びに興味関心を持ち、学びに対して能動性が見られるようになった。その一期生たちの卒業後の進路は、4年制大学 64.4%、短期大学 2.2%、専門学校 21.8%、その他 5.7%となった。本コースは、普通科でなく商業科として設置しているにも関わらず、普通科総合コースの4年制大学 61.4%を上回る結果となった。

商業科、普通科における卒業生の人数が逆転したのも今年度である。卒業生数は、327名であり、内訳は、商業科 182名、普通科 145名となり、在籍生徒の約 56%が商業科と過半数を超えた。全国的にも商業科&普通科併設校で、商業科が過半数を超える高校は類を見ない。大都市圏では、専門学科職業選択群の人気は下降し、定員割れが発生し、統廃合が進められている。京都府においても例外ではなく、京都府南部地域においては、商業化大規模校は公立1校のみである。ステークホルダーの需要が全体的に減少している中、本校の商業科の生徒数は、年々増加傾向にあり需要は高まっている。その要因の一つが、学びの本質を4年制大学経営・経済学部とし、卒業後の進路先も、4年制大学をターゲットにする「進学型商業科」という特色があるためである。商業コースにおける進路割合は、4年制大学 56.8%、短期大学 13.7%、専門学校 21.2%、就職 5.3%、その他 2.1%となっており、約 60%が4年制大学へと進路を決めている。この値は、もはや他校の普通科と匹敵する数字である。普通科同様の進路保証、かつ3年間の学びでビジネス資格を取得することができるという商業科のメリットがより強調されたのであろう。全商・専門学科推薦も引き続き好調で、同志社大学1名、立命館大学1名、日本大学1名、龍谷大学4名、京都産業大学2名に加え、京都橘大学4名、摂南大学2名、大阪経済大学8名など摂神追桃クラスも伸びてきている。

次年度の特進クラスは、年度内入替制習熟度別クラス編成の一期生がいよいよ最終学年となる年である。この2年間は過去最高の伸び率を示している。国公立・関関同立の合格者数の過去最高の値を出す可能性が高く多いに期待している。

学校行事では、今年度より行き先を「北海道」に変更した修学旅行が特徴的である。従来の全員参加型スキー学習ではなく、観光コースとスキー&スノボ実習コースの選択制にし、自らの修学旅行の選択先を自分で決定するという主体性を育む機会となった。今後は、事前・事後学習にも主体性を育む探究的要素を加え、より良い企画としたい。

部活動においては、ダンス部が第2回のオーストラリアの国際大会において、優勝を勝ち取り、大会2連覇を達成し、2年連続世界一位の座についた。バドミントン部も、主要な府下大会においては、すべて優勝し、インターハイ・国民スポーツ大会・全国選抜と主要な全国大会へと出場を果たしている。ソフトボール部では、単独校ではないものの国民スポーツ大会、京都府代表チームとして選ばれた上田朋佳が、レギ

ユラーメンバーとしてすべての試合に出場し、見事、全国準優勝に輝いた。

高校の授業料無償化について、令和8年4月から私立高校を対象に加算されている国の就学支援金の上限額の所得制限を撤廃し、私立の全国平均の授業料である45万7200円に引き上げる方向性が示された。しかし、授業料の差額分・入学金・充実費など、公立同等の完全無償化とは程遠い状況である。当然の事ながら、学費を払うだけの付加価値として公立にはない教育サービスを創出し提供することが出来るかという普遍的な課題に一層取り組まなければいけない。公立にはない建学の精神のもと、「人づくり、教育づくり、学校づくり」をブルーオーシャン戦略をコンセプトに短期・中期・長期にわたり計画し運営していく。

【整備】

- ◆ホームルーム教室 スクールセット(机・椅子)
- ◆食堂床リニューアル
- ◆DX ルーム増設
- ◆トイレリニューアル
- ◆自習室増設(個別型学習環境)
- ◆トレーニングルーム増設

【キャリア教育】

- ◆1・2年：次世代型キャリア教育（総合的な探求）
- ◆1・2年：企業人による講演
- ◆進路ガイダンス
 - 1年：職業理解ガイダンス、進路部長ガイダンス
 - 2年：学問分野別説明会
 - 3年：進路部長ガイダンス、大学入試説明会
- ◆教育連携プログラム
 - 2・3年：京都経済短期大学「商業科&高短連携授業」
- ◆京都明德キャリアウィーク
 - インターンシップ→職業体験
 - スカラシップ→大学授業体験
- ◆就職プログラム
 - 進路相談、会社見学、マナー講座、履歴書・面接・内定者指導、入社前セミナー

【SL(スポーツマネジメント)コース課外活動】

- ◆2025.06.06 講演 京都橘大学 准教授 井澤悠樹様
『What is Sport Marketing? スポーツのチカラでもっと幸せな世界へ』 ①②③
- ◆2025.06.17 講演 大阪学院大学 教授 宮田将吾様 『無気力と自信の正体』 ①②③
- ◆2025.06.24 講演 龍谷大学 教授 松永敬子様
『地域スポーツのマネジメント ～スポーツ×地域活性化～』 ①②③
- ◆2025.06.30 校外活動 神戸ストークス本拠地

- 「GLION ARENA KOBE 見学ツアー」 ③
- ◆2025.07.04 講演 藍野大学 准教授 熊田仁様
『理学療法と作業療法の学びについて』 ③
 - ◆2025.07.21/22/24 交流 京都ハンナリーズトップチーム練習会場貸出
およびコーチ・選手によるクリニック [男子バスケットボール部]
 - ◆2025.08.29 校外活動 京都ハンナリーズ主催
「オール京都の夏祭り UMEKOJI BLUE FESTIVAL」 前日設営準備 ①
 - ◆2025.08.29 講演 京都市文化市民局市民スポーツ振興室京都マラソン推進課長
加島靖彦様 『京都マラソンの開催状況について』 ② ③
 - ◆2025.08.30 校外活動 京都ハンナリーズ主催
「オール京都の夏祭り UMEKOJI BLUE FESTIVAL」 当日ボランティア ① ② ③
 - ◆2025.09.05 課題説明 京都ハンナリーズ ホームタウン推進部長 田中裕一様 1・
2年課題「開幕告知ポスター掲出の課題説明」 ① ②
 - ◆2025.09.05 課題説明 京都ハンナリーズ ホームタウン推進部長 田中裕一様
3年課題「研究テーマ『水曜ナイトゲームを完売に！』の課題説明」 ③
 - ◆2025.09.12 校外活動 甲子園歴史館およびスタジアムツアー ①
 - ◆2025.09.12 校外活動 武庫川女子大学の施設見学（学食体験含む）および授業体験
武庫川女子大学 教授 柳沢和雄様 他 『スポマネグループ学習体験』 ①
 - ◆2025.09.12 校外活動 大阪体育大学の施設見学（大学紹介含む）および施設体験 ②
 - ◆2025.09.12 校外活動 大阪体育大学の授業体験 大阪体育大学 教授 徳山友様
『スポーツ産業の範囲モデルと各セクターにおける事業について』 ②
 - ◆2025.09.19 講演 びわこ成蹊スポーツ大学 准教授 吉倉秀和様
『スポーツマネジメントについて』 ② ③
 - ◆2025.09.19 校外学習 京都ハンナリーズ 開幕応援ポスター張り活動
（洛西地域・桂駅周辺） ①
 - ◆2025.10.10 校外学習 京都ハンナリーズ 開幕応援ポスター張り活動
（長岡天神駅・長岡京駅周辺） ②
 - ◆2025.10.24 校外学習 京都ハンナリーズ 開幕応援ポスター張り活動
（東向日駅・向日町駅周辺） ②
 - ◆2025.10.24 校外活動 京都ハンナリーズ 京都市体育館
ホームゲーム前日設営準備 ②
 - ◆2025.10.24 校外活動 J Dリーグ わかさスタジアム京都 設営準備 ①
 - ◆2025.11.02 校外活動 Bリーグ 京都ハンナリーズ vs 三遠ネオフェニックス
【京都市体育館】 ハーフタイムショー出演（ダンス部） ① ② ③
 - ◆2025.11.28 講演 Tリーグ 京都カグヤライズ（株式会社京都卓球クラブ）
代表取締役 池袋晴彦様『地元密着の京都カグヤライズ運営で目指すもの』
 - ◆2026.01.20 包括連携協定締結式 京都カグヤライズ 運営会社
代表取締役 池袋晴彦様 / 京都明德高等学校 校長 二宮庸介
 - ◆2026.01.23 講演 大阪経済大学 教授 相原正道様 [元東京五輪招致委員会事業部門
マネージャー] 『スポーツマーケティング』 ① ② ③

- ◆2026.01.30 校外活動 京都ハンナリーズ 京都市体育館
ホームゲーム前日設営準備①
- ◆2026.02.06 校外活動 京都ハンナリーズ 京都市体育館
ホームゲーム前日設営準備①
- ◆2006.02.13 講演 スポーツセラピスト
松田多朗様『秘めた力を引き出す方法～脳とカラダの使い方～』①②
- ◆2026.02.15 校外活動 京都マラソン 2026 当日給水係ボランティア（簿記部）①②
- ◆2026.03.01 校外活動 Tリーグ 京都カグヤライズ vs 木下アビエル神奈川
【KBS ホール】 ハーフタイムショー出演（ダンス部）①②③
日本と世界のスポーツマネジメント』①②

【行事】

- 4 / 1 (火) 新任教職員研修会
- 3 (木) 新入生登校日
- 4 (金) 第1回 HR セミナー
- 8 (火) 始業式
- 9 (水) 第29回入学式
- 19 (木) 1年生オリエンテーション
- 11 (金) 新入生歓迎会
- 12 (土) 2、3年生保護者会
- 30 (水) 春遠足
- 5 / 2 (金) 花まつり・1年交通安全教室
- 7 (水) 3年就職ガイダンス
- 8 (木) 3年進学ガイダンス
- 9 (金) 公開授業「MEITOKU DX LABO」
- 11 (日) 大阪朝日広告社 入試報告会
- 13 (火) 3年保護者対象進路説明会
- 14 (水) 進学就職合同説明会
- 15 (木) 健康診断
- 17 (土) ミニオープンキャンパス
- 22 (木) 育友会クラブ後援会総会
- 23 (金) 京都私立就職対策協議会
- 29 (木) 球技大会予選リーグ
- 30 (金) 球技大会決勝トーナメント
- 6 / 7 (土) 第72回全国高等学校ビジネス計算競技大会
私学フェア（みやこメッセ）
- 8 (日) 私学フェア（みやこメッセ）
- 10 (火) 人権カウンセリング研修会 ※いじめ問題
- 14 (土) 第2回オープンキャンパス
- 15 (日) 全商ビジネス計算実務検定

- 17 (火) 育友会社会見学
- 19 (木) 教育実習生反省会
- 22 (日) 全商簿記実務検定
- 24 (火) CL商業、校外研修 関西万博
- 29 (日) 全商 ビジネス文書実務検定
- 7 / 1 (火) 中学対象学校説明会
- 2 (水) 塾対象学校説明会
KBSラジオ収録
- 3 (木) 見学相談ツアー
- 4 (金) ~ 11 (金)
期末考査
- 11 (金) 3年進路(進学・就職)ガイダンス
- 14 (月) PISA調査(1年CLから無作為選抜40名)
- 15 (火) テスト返却日
- 18 (金) 終業式
- 22 (月) ~ 25 (金)
保護者懇談会
- 26 (土) オープンキャンパス
- 28 (月) 就職相談・受験企業校内選考 I
- 31 (木) プレゼンテーション講座
- 8 / 2 (土) 大阪旭広告社 入試説明会
- 19 (火) 就職相談・受験企業校内選考
- 20 (水) 合同面接指導(就職企業決定生徒対象)
- 23 (土) 第3回オープンキャンパス
- 24 (日) 山科高校入試説明会
- 25 (月) 始業式
- 30 (土) 私立中高展
- 31 (日) 私立中高展
- 9 / 2 (火) 3年就職希望者面接指導
- 7 (日) 全商 英語検定
- 12 (金) 1・2年SL課外授業(全日)
※1年:武庫川女子大学 2年:大阪体育大学
- 16 (火) 就職試験開始
- 19 (金) びわこスポーツ大学 出張授業
京都私立中高合同説明会
- 20 (土) オープンキャンパス
- 21 (日) 第17回フォーラム
- 28 (日) 全商 情報処理検定
- 10 / 2 (木) 大阪第一学区東ブロック中学校合同説明会
- 3 (金) 学園祭

- 4 (土) 学園祭
- 15 (水) ～ 17 (金) 中間考査
- 18 (土) 第6回オープンキャンパス
- (土) 西地区入試相談会
- 19 (日) 私学教育研究大会
- 20 (月) 見学相談ツアー
- 22 (水) お会式・明德学園奨学金授与式
- 23 (木) 創立記念日・明德学園研修懇親会
- 25 (土) 大阪朝日広告社 入試相談会
- 26 (日) 関西私塾の会私学個別相談会
- 28 (火)・29 (水) 明德キャリアウィーク
- 31 (金) 体育祭
- 11 / 5 (水) 1年保護者対象進路説明会
- 6 (木) 2年保護者対象進路説明会
- 7 (金) 1・2年 秋遠足
- 8 (土) オープンキャンパス
- 9 (日) 全商 ビジネス計算実務検定
- 11 (火) 育友会社会見学 神戸 震災学習
- 17 (月) 芸術鑑賞会
- 21 (金) 見学相談ツアー
- 27 (木) 見学相談ツアー
- 29 (土) 私立中高入試相談会 (京都ガーデンパレス)
- 12 / 1 (月) ～ 5 (金)
- 期末考査
- 6 (土) オープンキャンパス⑦
- 13 (土) 個別入試相談会
- 8 (月) ～ 19 (金)
- 個別入試相談会
- 14 (日) 京都教育フォーラム
- 15 (月) 人権学習
- 16 (火) ～ 22 (月)
- 1・2年 保護者個別懇談会
- 19 (金) 終業式
- 21 (日) ダンス部 DANCELIVE vol.15 (学園ホール 16:30 開場)
- 22 (月) ～ 26 (金)
- 冬期進学講座
- 1 / 8 (木) 始業式・降誕会・涅槃会
- 16 (金) 修学旅行 結団式
- 17 (土) 大学入学共通テスト
- 18 (日) 大学入学共通テスト

- 1 9 (月) 私立就職対策協議会
- 1 6 (金) ～ 2 3 (木) 入試願書受付期間
- 1 8 (日) 全商 情報処理検定
- 2 5 (日) 全商 簿記実務検定
- 2 6 (月) ～ 2 9 (木) 修学旅行
- 2 8 (水) ～ 2 / 3 (水) 3 年学年末考查
- 2 / 9 (月) 全日 入試準備 ※生徒自宅学習日
- 1 0 (火) 令和 8 年度入学試験 A 日程
- 1 1 (水) 令和 8 年度入学試験 B 日程
- 1 3 (金) 結果発送日 ※WEB 発表日
- 1 5 (日) SL コース 京都マラソンボランティア
- 2 0 (金) 1 . 5 次入試
- 2 1 (土) 推薦専願合格者制服採寸日
- 2 7 (金) 卒業式 予行演習
- 3 / 3 (月) 卒業証書授与式、感謝の夕べ
- 4 (火) ～ 1 0 (火)
- 1 ・ 2 年学年末考查
- 1 3 (金) 吹奏楽部定期演奏会 長岡京記念文化会館
- 2 3 (月) 推薦・専願・併願合格者登校日

【部活動】

◆ダンス部

- ・ USA School&College Nationals 2025 in 幕張メッセ
HipHop 高校編成 Large A 第 1 位
Grand Final 出場 高校 Dance グランプリ 2 連覇
- ・ 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 関西大会
HipHop 男女混成 Large 第 2 位 ※全国大会出場権
- ・ 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2025
HIPHOP 男女混成部門 Large 編成 準優勝
団体総合第 4 位 特別賞：JTB 賞
- ・ AUSSIE GOLDS International Championships2025 ※第 2 回オーストラリア国際大会
高校 HIPHOP 部門 優勝
- ・ 令和 7 年度ダンスドリル秋季競技大会関西大会
HIPHOP 男女混成 Large 編成 優勝
団体総合 優勝
- ・ 第 13 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 winter cup2026
Hiphop 部門男女 Large 編成 優勝
団体総合 優勝 ☆ 3 連覇
朝日新聞社賞
- ・ USA Regional2026 関西大会

高校編成 優勝 ※全国大会出場権獲得

・Performanc Cheer Grand Final

Hiphop 部門 高校編成 優勝

◆ソフトボール部

・京都府春季大会（市内女子） 第3位

・国民スポーツ大会近畿予選

第2代表決定 ※全国大会（本戦）出場決定 3年 上田朋佳

・国民スポーツ大会 京都府少年女子 準優勝 3年 上田朋佳

◆バドミントン部

・令和7年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選

[学校対抗] 優勝 ※全国大会出場

[シングルス] 優勝 大平 彩詠（2年） ※全国大会出場

準優勝 岡本 芽（3年） ※全国大会出場

第3位 高木 杏奈（3年） 第3位 小山 心愛（3年）

[ダブルス] 優勝 岡本 芽（3年）・小山 心愛（3年） ※全国大会出場

準優勝 高木 杏奈（2年）・大平 彩詠（2年） ※全国大会出場

・令和7年度 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会

[学校対抗] ベスト32

1回戦 vs 旭川商業 3-1

2回戦 vs 名経大市邨 0-3

[シングルス] 大平 彩詠（2年） 2回戦敗退

岡本 芽（3年） 1回戦敗退

[ダブルス] ベスト32

1回戦 vs 諫早商業 2-0

2回戦 vs 倉敷中央 2-0

3回戦 vs ふたば未来学園 0-2

・令和7年度 JOCジュニアオリンピックカップ

第44回全日本ジュニアバドミントン選手権大会京都府予選会

[ダブルス] 準優勝 大平 彩詠（2年）・黒岩 希々（2年）

[シングルス] 優勝 大平 彩詠（2年） ※全日本ジュニア選手権大会出場権獲得

・第72回近畿高等学校バドミントン選手権大会 京都府予選

[ダブルス] 優勝 大平 彩詠（2年）・黒岩 希々（2年）

[シングルス] 優勝 大平 彩詠（2年）

・京都府高等学校バドミントン新人大会

[ダブルス] 優勝 大平 彩詠（2年）・黒岩 希々（2年）

[シングルス] 優勝 大平 彩詠（2年）

準優勝 黒岩 希々（2年）

◆女子硬式野球

- ・第29回全国高等学校女子硬式野球選手権大会

ベスト32

1回戦 vs 叡 明 4-2

2回戦 vs 松本国際 5-6

- ・第16回全国高等学校女子硬式野球ユース大会

ベスト32

1回戦 vs 市立前橋 7-0

2回戦 vs 旭川明成 2-4

- ・第27回全国高等学校女子硬式野球選抜大会

ベスト8

1回戦 vs 弘前学院聖愛 10-2

2回戦 vs 啓明学館 8-2

3回戦 vs クラーク記念国際 2-1

4回戦 vs 花巻東 1-4

◆剣道部

- ・令和7年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選 第3位（近畿大会出場）
- ・令和7年度 近畿高等学校剣道大会 ベスト16
- ・令和7年度 京都府 私学大会 優勝（2年ぶり6回目）
- ・第44回京都府高等学校剣道新人大会 第3位

◆男子バスケットボール部

- ・令和7年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選 ベスト16
- ・令和7年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選 ベスト16
- ・令和7年度 京都府高等学校新人大会 京都府予選 ベスト16

◆女子バスケットボール部

- ・令和7年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選 ベスト16
- ・令和7年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選 ベスト8
- ・令和7年度 京都府高等学校新人大会 京都府予選 ベスト16

◆吹奏楽部

- ・第33回マーチングバンド京都府大会 金賞
- ・第47回マーチングバンド関西大会 銀賞
- ・第24回マーチングステージ全国大会 銀賞
- ・第3回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト京都
カンネベルグケビン 2年7組 金賞
- ・第58回京都府アンサンブルコンテスト 金賞

◆男子硬式野球

- ・令和7年度 秋季京都府高等学校野球大会

1 回戦 vs 舞鶴高専 15 - 1

2 回戦 vs 北桑田・西乙訓・京都教大付 7 - 1

3 回戦 vs 龍谷大平安 1 - 5

◆卓球部

- ・令和7年度インターハイ京都府予選

[男子団体] ベスト8

[男子ダブルス] 山口・上村組 ベスト16 ※近畿大会出場権獲得

- ・第79回近畿高等学校卓球選手権大会 ジェイテクトアリーナ奈良

[男子学校対抗] ベスト16

◆珠算部

- ・第72回全国高等学校ビジネス計算競技大会 京都府予選会

[団体 電卓] 優勝 ※全国大会出場

[団体 珠算] 準優勝

[個人 電卓] 優勝 高橋 愛純（2年） ※全国大会出場

第2位 田邊 智也（3年） ※全国大会出場

優良賞 波多野咲月（2年） ※全国大会出場

優良賞 山岸 咲月（2年） ※全国大会出場

[個人 珠算] 第3位 山本 真央（3年） ※全国大会出場

◆簿記部

- ・第41回全国高等学校簿記競技大会 京都府大会

[団体] 準優勝

[個人] 準優勝 田邊 智也（3年） ※全国大会出場

◆ボーリング部

- ・令和7年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選

第7位 武本 日向（2年） ※全国大会出場

(2) 「令和8年度入学試験」に関する状況

	1 次		1.5 次		合計	
	出願者数	合格者	出願者数	合格者	出願者数	合格者
EL<特進>	103	72	0	0	103	72
JL<準特進>	140	114	1	1	141	115
PL<普通>	358	348	6	2	364	350
CL<商業>	253	205	6	2	259	207
SL<スポマネ>	154	134	0	0	154	134
合計	1008	873	13	5	1021	878

(3) 令和7年度 卒業生状況

卒業生数： 327名（商業科 182名 / 普通科 145名）

[表彰]

日本私立中学高等学校連合会長表彰 1名
 京都府私立中学高等学校連合会表彰 1名
 全国商業高等学校協会卒業生成績優秀者表彰 1名
 産業教育振興中央会会長賞 1名
 京都府産業教育振興会会長賞 1名
 京都府卒業生成績優秀者表彰 1名
 全国商業高等学校主催検定3種目以上1級合格者表彰 12名
 6種目 1名 5種目 5名 4種目 4名 3種目 2名

(4) 進路状況

○4年制大学 合格者数392

国公立 1・関関同立 19・産近甲龍佛 125 その他 247

○進路内訳 在籍数327

4年制大学 210 64% (65%)
 京都経済短大 16 4% (10%)
 短大 12 4% (3%)
 就職 16 5% (4%)
 専門 64 20% (15%)
 その他 8 3% (3%)

※就職は、21年連続、内定率100%達成。

※その他には、留学生・浪人生含む。

4. 京都成章高等学校

(1) 当該年度の事業の概要について

昨年同様、第一に、管理職、学年部長、担任、教科担当が参加するクラスミーティングを定期的に関き、教科バランスや授業内容、テスト、課題などについて意見を交換しながら、生徒にとって最善と思われる環境の構築を目指した。その結果、普段から担任と教科担当のコミュニケーションが増え、教科指導や偏差値アップだけではなく、推薦指導などもチームで取り組んだ事が、生徒のモチベーションアップに繋がり、国公立大学、関関同立等の進学実績向上の一因となっている。

第二に、生徒が本校に最も求めている放課後の学習環境を維持するため、放課後質問対応教員を配置し、20時45分までは主要5教科の質問に対応できる環境を整えた。様々なタイプの自習室があるため、生徒はそれぞれ学習に励みやすい環境を選び、夜遅くまで学校で勉強している。

第三に、各コース・各クラスにおいても、昨年同様、企業の協力のもと、金融教育に取り組んだり、生徒が様々な留学生と交流できる機会を作った。また、MSクラスにおいては、授業とクラブ活動だけの毎日から脱却させるべく、リーダーシップ、行動力、発言力を成長させることを目的とし、リーダーミーティングでの話し合いや、プレゼンする機会を継続的にもうけた。これは、大学入試を突破できる学力を重視しながらも、入試形態の多様化に対応するために視野を広げて考える力を伸ばしたり、行動力を高めたりすることを目的としている。

これらの様々な取り組みが少しずつ実を結び始め、大学合格率91.3%、国公立大学合格148名、関関同立合格367名を達成した。中でも、MSコースから慶應義塾大学に現役合格できたことは特筆すべきことである。生徒たちの入学時の学力を考えると、令和7年度も「面倒見が良く、生徒を伸ばす力」の教育が実践できたと考える。

しかしながら、TSクラスとして初めての卒業生を送り出す年度となって、京都大学現役合格1名ということは、京都成章高校の全力を注ぎ、取り組み、併せて期待していた分、課題の多い結果になったと言わざるを得ない。配点の多い2次の記述試験に注力してきた分、共通テストで取り切れなかった生徒がおり、その結果、生徒は当初の志望校を受験しなかった。2次試験で十分に逆転出来る学力を持ちながらも受験校を下げてしまったことから、難関国公立大学合格、特に京都大学合格にとことんこだわるマインドの醸成が重要であると考え。しかしながら、今年度京都大学に合格した生徒は、アカデミッククラス→ASクラス→TSクラスとクラスレベルを上げていった生徒である。また、TSクラス卒42名中、進学準備が14名となっていることについては、ある意味挑戦できていると考えたと全てが失敗でなかったとも言える。これらの様に、挑戦するマインドこそが今後成章が必要とする大きなポイントだと考える。これは生徒に限らず保護者も同様であり、令和8年度の大きな課題として継承していく。加えて、共通テストの得点を取り切るための基本の徹底に向けて学習時間をさらに確保させることも必要である。

1) 教育

① 授業

全日制課程

令和7年度も学則に定められた授業日数を確保し、すべての教科において定められ

た学習内容を終了できた。

通信制課程

令和7年度も、例年通りの年間18日のスクーリングを実施し、また定められたレポート添削指導を完了した。

② 学校行事

令和7年度は、一年を通して、ほぼ従来通りの学校行事の実施を果たした。

4月 8日	第40回 入学式
11日	校外活動
23日	1年生「人権学習」、3年生「主権者教育」
5月13日	遠足
6月12・13日	文化祭
9月 9日	芸術鑑賞
10月 9日	体育祭
11月12日	球技大会
2月17日～	1年スキー研修旅行 白馬コルチナススキー場 2年生スキー研修旅行 タングラムスキー場
2月27日	第38回卒業証書授与式

③メディカルスポーツクラス集中講座

9月26日	「栄養学」第一回目（1，2，3年）
11月21日	「栄養学」第二回目（1年）
9月29日	「心理学」第一回目（1，2年）
1月20日	「心理学」第二回目（1，2年）
1月30日	「心理学」第三回目（1，2年）
2月 2日	「心理学」第四回目（1，2年）
2月 5日	「心理学」第五回目（1，2年）
2月12日	「心理学」第六回目（1，2年）

④進路指導関係

4月25日	3年生 保護者対象 進路説明会
6月18日	1年生 進路学習会
6月25日	2年生 進路学習会
9月19・22日	1年生 学部学科ガイダンス
10月3日	1年生 大学調べ
10月16・17・20日	1年生 学級懇談会（文理選択について）
10月21日	2年生 進路学習会
10月27・30・31日	2年生 保護者対象進路説明会
1月23日	3年生 国公立大学出願検討会
1月26・27・28日	3年生 国公立大学出願用三者面談
3月5日	2年生 立命館大学高大連携説明会

⑤ 生活指導関係

令和7年度もいじめ防止対策、薬物の危険性を中心にした生活指導に関する教育と自転車の安全運転に関する教育を重視し、外部講師を招いて生徒を対象に「いじめの問題」「薬物の危険性」「ネット利用の危険性」についての講演を行った。

4月21日 1年生 「ネットの危険性」 京都府警ネット安心アドバイザー
 2年生 「危険薬物について」 京都市薬務課

10月22日 1年生 「人権教育・進路学習について」
 佛教大学 原 清治 先生

⑥ 三者面談

担任による保護者と生徒を対象にした面談。特に一学期の学習状況等を総括し、希望進路や今後の学習計画等を相談。また保護者と担任との信頼関係の構築も目的の一つ。原則7月17日・18日・22日の三日間を実施日として三者面談を本校の各ホームルームで実施。

⑦ 進学講座

毎週、月・火・木・金の放課後に実施。原則1コマ45分を2講座。

⑧ 長期休暇中の教育活動

- ・春季休暇中・・・春期講習の実施
- ・夏季休暇中・・・夏期講習の実施
- ・冬期休暇中・・・冬期講習の実施

⑨ 教育の管理

- ・学校評価の実施

2) 健康・安全管理関係

① 学校衛生委員会の開催と充実

原則として毎月第四水曜日(16:45～)に、校長、副校長、教頭、衛生管理者、産業医、保健主事、養護教諭、教職員代表らによる、教職員の健康管理を目的とした「学校衛生委員会」を開催。以下は令和7年度に開催された衛生委員会での議題。

4月 令和7年度衛生委員会委員推薦等

5月 梅雨の時期の過ごし方について

6月 夏の睡眠管理について

7月 職場における熱中症対策の強化について

8月 ストレスチェックの実施について、带状疱疹について

9月 がん検診について

10月 インフルエンザ、コロナワクチン接種について

- 1 1 月 衛生委員会アンケートの結果について
- 1 2 月 教職員定期健康診断の結果報告
 - 1 月 春の花粉飛散予測について
 - 2 月 春のうつ病について
 - 3 月 令和 7 年度衛生委員会の年間まとめ

② 教職員健康診断

6 月 5 日

教職員対象健康相談

1 2 月 5 日

③ 生徒の健康・安全管理

- 4 月 1 6 . 2 4 日 生徒検尿
- 1 7 日 生徒健康診断
- 5 月 2 0 日 交通安全教室（西京警察署による講演と実演）
- 7 月 2 日～8 日 自転車点検（クラスごと）
- 9 月 1 0 . 1 8 日 クラブ員検尿
- 1 月 2 8 日 1・2 年生 スキー研修前内科検診

④ 避難訓練

5 月 2 1 日に実施。

3) 教員の研究・研修及び協議会・フォーラム関係

- | | | |
|-------------------|---------------|--------------|
| 5 月 9 日 | 生徒指導研究会・教職員研修 | 私学会館 |
| 2 3 日 | 体育指導者連盟代議員会 | 久御山高等学校 |
| 3 0 日 | 保健体育研究会 | 京都私学会館 |
| 6 月 3 0 日、7 月 1 日 | 救命救急講習会 | 本校 |
| 2 4 日 | 生徒指導研究会 | 洛風中学校 |
| 2 0 日 | 応急手当普及員講習 | 京都市防災センター |
| 1 0 月 1 9 日 | 私学研究大会 | 平安女学院中学・高等学校 |
| 2 月 1 3 日 | 保健体育研究会 | 京都私学会館 |
| 3 月 6 日 | 生徒指導研究会・年度末総会 | 京都私学会館 |
| 3 月 1 3 日 | 体育連盟総会研修会 | ホテルグランヴィア京都 |

4) 部活動の主な戦績について

男子ラグビー部

第 1 0 5 回 全国高等学校ラグビーフットボール大会 全国準優勝

女子ラグビー部

第 8 回 全国 U 1 8 女子セブンズラグビーフットボール大会 全国 8 位

剣道部

令和7年度京都府高校剣道新人大会

京都府準優勝

女子バレーボール部

令和7年度近畿高等学校バレーボール選手権大会

出場

バドミントン部

第76回全国高等学校バドミントン選手権大会京都府予選団体戦

男子 3位

女子 2位

第76回全国高等学校バドミントン選手権大会京都府予選個人戦

男子シングルス 2位

男子ダブルス 3位

女子ダブルス 3位

女子卓球部

第79回近畿高等学校卓球選手権大会

出場

女子ソフトテニス部

京都府高等学校ソフトテニス選手権大会団体戦

ベスト4

野球部

第107回全国高等学校野球選手権京都大会

ベスト16

男子バスケットボール部

第73回京都府高等学校新人大会兼第36回近畿高等学校新人大会京都府予選

7位

女子バスケットボール部

第45回京都府高等学校新人大会兼第36回近畿高等学校新人大会京都府予選

ベスト16

ソフトボール部

新人大会

ベスト4

写真部

第49回全国総文祭

出場

(2) 入学志願者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

令和8年度入試結果

(全日制課程)

	出願者数	T S クラ ス合格	A S クラ ス合格	アカデミ ークラス 合格	メディカ ルスポー ツクラス 合格	合格者計
専願・推薦	334	23	92	101	115	331
併願	390	109	153	100	23	385
合計	724	132	245	201	138	716

(通信制課程)

1 名受験 1 名合格

全日制 386 名入学

通信制 1 名入学

(3) 卒業生数について (2 月 27 日卒業証書授与式を挙行)

令和 7 年度 全日制課程卒業生 492 名

通信制課程卒業生 39 名

(4) 令和 7 年度卒業生進学状況

全日制課程 卒業生 492 名

- ・ 四年制大学 428 名
- ・ 短期大学 1 名
- ・ 専門学校 12 名
- ・ 海外留学 1 名
- ・ 進学準備 50 名
- ・ 就職 0 名

通信制課程 卒業生 39 名

- ・ 四年制大学 23 名
- ・ 専門学校 4 名
- ・ 進学準備 8 名
- ・ 就職 1 名
- ・ その他 3 名

Ⅲ 財務の概要について

学校法人明德学園の令和7年度決算書類は、私立学校法及び学校法人会計基準並びに私立学校振興助成法施行規則に従って作成され、会計監査人の外部監査及び学園監事による内部監査を受けた後、令和8年6月18日の理事会で承認され、6月26日の定時評議員会で報告されたものである。

1. 主な計算書類

(1) 貸借対照表の状況と経年比較

「貸借対照表」は、期末における資産、負債、自己資金の状況を明らかにし、財政状態を表すものである。

貸借対照表

(単位 円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	16,938,356,629	16,799,042,040	16,811,236,933	16,749,427,315	16,598,214,598
有形固定資産	10,041,847,130	9,894,742,641	9,734,509,589	9,566,886,151	9,386,330,568
特定資産	6,893,521,995	6,901,311,895	7,073,739,840	7,179,553,660	7,208,896,526
その他の固定資産	2,987,504	2,987,504	2,987,504	2,987,504	2,987,504
流動資産	3,766,043,465	4,397,864,199	4,662,196,883	4,915,056,336	5,263,984,221
資産の部合計	20,704,400,094	21,196,906,239	21,473,433,816	21,664,483,651	21,862,198,819

固定負債	441,076,245	441,374,857	409,702,802	402,316,622	428,809,488
流動負債	676,507,680	806,606,045	778,447,105	722,608,814	698,352,073
負債の部合計	1,117,583,925	1,247,980,902	1,188,149,907	1,124,925,436	1,127,161,561
基本金	18,996,699,455	19,105,319,724	19,185,852,295	19,284,600,383	19,355,482,074
第1号基本金	16,455,079,455	16,553,699,724	16,634,232,295	16,721,980,383	16,792,862,074
第2号基本金	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
第3号基本金	1,324,620,000	1,334,620,000	1,334,620,000	1,345,620,000	1,345,620,000
第4号基本金	217,000,000	217,000,000	217,000,000	217,000,000	217,000,000
繰越収支差額	590,116,714	843,605,613	1,099,431,614	1,254,957,832	1,379,555,184
純資産の部合計	19,586,816,169	19,948,925,337	20,285,283,909	20,539,558,215	20,735,037,258
負債及び純資産の部合計	20,704,400,094	21,196,906,239	21,473,433,816	21,664,483,651	21,862,198,819

(2) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の収支の状況を明らかにし経営成績を表すものである。

事業活動収支計算書

(単位 円)

			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	2,127,306,500	1,988,327,750	2,028,626,000	2,021,420,750	2,022,057,700
		手数料	46,013,500	53,747,900	44,090,500	45,439,600	45,544,290
		寄付金	19,106,448	7,743,775	7,164,094	13,037,998	5,668,400
		経常費等補助金	1,226,112,012	1,238,867,262	1,186,574,834	1,200,455,335	1,234,241,281
		付随事業収入	14,970,772	16,966,436	15,436,125	16,426,874	17,139,015
		雑収入	72,170,903	104,114,532	167,926,650	88,806,367	61,713,299
		教育活動収入計	3,505,680,135	3,409,767,655	3,449,818,203	3,385,586,924	3,386,363,985
	支出の活動	人件費	1,867,148,039	1,878,990,871	1,911,513,515	1,893,810,029	1,905,319,700
		教育研究経費	1,190,389,955	1,178,756,678	1,171,995,317	1,222,025,683	1,276,752,643
		管理経費	202,852,034	164,843,294	168,027,479	187,592,239	165,684,389
		徴収不能額等	500,000	0	0	0	0
教育活動支出計		3,260,890,028	3,222,590,843	3,251,536,311	3,303,427,951	3,347,756,732	
教育活動収支差額			244,790,107	187,176,812	198,281,892	82,158,973	38,607,253
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	123,426,092	123,812,870	125,991,508	138,598,269	143,471,630
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	123,426,092	123,812,870	125,991,508	138,598,269	143,471,630
	支出の活動	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額			123,426,092	123,812,870	125,991,508	138,598,269	143,471,630
経常収支差額			368,216,199	310,989,682	324,273,400	220,757,242	182,078,883
特別収支	収入の活動	資産売却差額	55,536,453	8,302,685	3,856,780	8,191,968	10,172,386
		その他の特別収入	16,927,001	43,767,120	12,262,343	32,024,396	10,537,631
		特別収入計	72,463,454	52,069,805	16,119,123	40,216,364	20,710,017
	支出の活動	資産処分差額	988,440	950,319	4,033,951	6,699,300	7,309,857
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	988,440	950,319	4,033,951	6,699,300	7,309,857
特別収支差額			71,475,014	51,119,486	12,085,172	33,517,064	13,400,160
基本金組入前当年度収支差額			439,691,213	362,109,168	336,358,572	254,274,306	195,479,043
基本金組入額合計			△ 183,477,265	△ 110,029,344	△ 80,864,540	△ 98,748,088	△ 77,668,784
当年度収支差額			256,213,948	252,079,824	255,494,032	155,526,218	117,810,259
前年度繰越収支差額			333,844,176	590,116,714	843,605,613	1,099,431,614	1,254,957,832
基本金取崩額			58,590	1,409,075	331,969	0	6,787,093
翌年度繰越収支差額			590,116,714	843,605,613	1,099,431,614	1,254,957,832	1,379,555,184
(参考)							
事業活動収入計			3,701,569,681	3,585,650,330	3,591,928,834	3,564,401,557	3,550,545,632
事業活動支出計			3,261,878,468	3,223,541,162	3,255,570,262	3,310,127,251	3,355,066,589

(3) 資金収支計算書の状況と経年比較

「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを明らかにするための計算書類である。

資金収支計算書

(単位 円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	2,127,306,500	1,988,327,750	2,028,626,000	2,021,420,750	2,022,057,700
手数料収入	46,013,500	53,747,900	44,090,500	45,439,600	45,544,290
寄付金収入	20,045,681	15,320,000	4,797,094	15,719,291	8,806,481
補助金収入	1,231,006,012	1,262,078,262	1,188,645,834	1,228,119,335	1,239,241,281
資産売却収入	155,965,802	52,783,285	32,146,905	20,409,250	28,906,369
付随事業・収益事業収入	14,970,772	16,966,436	15,436,125	16,426,874	17,139,015
受取利息・配当金収入	123,426,092	123,812,870	125,991,508	138,598,269	143,471,630
雑収入	72,170,903	104,114,532	166,702,750	83,115,282	61,713,299
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	439,177,752	515,127,752	411,428,380	457,868,170	479,522,470
その他の収入	1,410,714,268	1,118,920,033	1,381,503,067	1,142,159,669	1,377,437,160
資金収入調整勘定	△ 558,810,221	△ 628,961,962	△ 724,036,889	△ 567,628,120	△ 566,784,702
前年度繰越支払資金	2,447,316,834	2,858,822,302	3,408,284,576	3,623,174,875	3,947,764,494
収入の部合計	7,529,303,895	7,481,059,160	8,083,615,850	8,224,823,245	8,804,819,487

人件費支出	1,822,037,095	1,878,692,259	1,941,961,670	1,895,505,124	1,878,826,834
教育研究経費支出	950,179,821	927,393,916	920,697,483	979,852,395	1,034,760,736
管理経費支出	187,269,689	149,040,959	149,773,220	170,293,327	152,658,026
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	39,162,829	83,195,385	80,521,249	62,387,820	19,718,100
設備関係支出	33,796,085	24,835,647	19,773,400	34,481,139	59,654,894
資産運用支出	402,971,654	122,266,204	296,629,050	138,973,090	192,897,216
その他の支出	1,373,836,401	1,090,456,421	1,327,562,247	1,164,369,111	1,360,930,811
資金支出調整勘定	△ 138,771,981	△ 203,106,207	△ 276,477,344	△ 168,803,255	△ 115,742,066
翌年度繰越支払資金	2,858,822,302	3,408,284,576	3,623,174,875	3,947,764,494	4,221,114,936
支出の部合計	7,529,303,895	7,481,059,160	8,083,615,850	8,224,823,245	8,804,819,487

(4) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動区分に分けて、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための計算書類である。

活動区分資金収支計算書

(単位 円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動による 資金収支	教育活動資金収入計	3,505,419,368	3,409,082,592	3,443,127,303	3,379,850,242	3,386,322,985
	教育活動資金支出計	2,959,486,605	2,955,127,134	3,012,432,373	3,045,650,846	3,066,245,596
	差引	545,932,763	453,955,458	430,694,930	334,199,396	320,077,389
	調整勘定等	40,894,190	103,049,376	△ 68,863,506	13,874,210	△ 13,249,389
	教育活動資金収支差額	586,826,953	557,004,834	361,831,424	348,073,606	306,828,000
施設整備等活動による 資金収支	施設整備等活動資金収入計	6,094,000	37,531,000	5,171,000	30,390,890	8,179,081
	施設整備等活動資金支出計	174,158,914	110,581,032	303,394,649	198,068,959	81,222,994
	差引	△ 168,064,914	△ 73,050,032	△ 298,223,649	△ 167,678,069	△ 73,043,913
	調整勘定等	3,783,840	△ 20,663,960	20,073,440	△ 17,024,060	17,439,620
	施設整備等活動資金収支差額	△ 164,281,074	△ 93,713,992	△ 278,150,209	△ 184,702,129	△ 55,604,293
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		422,545,879	463,290,842	83,681,215	163,371,477	251,223,707
その他の活動による 資金収支	その他の活動資金収入計	1,502,912,283	1,145,362,307	1,349,857,270	1,092,258,051	1,393,615,419
	その他の活動資金支出計	1,513,952,694	1,059,190,875	1,218,648,186	931,039,909	1,371,488,684
	差引	△ 11,040,411	86,171,432	131,209,084	161,218,142	22,126,735
	調整勘定等	0	0	0	0	0
	その他の活動資金収支差額	△ 11,040,411	86,171,432	131,209,084	161,218,142	22,126,735
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		411,505,468	549,462,274	214,890,299	324,589,619	273,350,442
前年度繰越支払資金		2,447,316,834	2,858,822,302	3,408,284,576	3,623,174,875	3,947,764,494
翌年度繰越支払資金		2,858,822,302	3,408,284,576	3,623,174,875	3,947,764,494	4,221,114,936

【資金収支計算書の主な科目の内容】

□収入の部

科目	備 考
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、学園充実費、教育充実費、施設維持費、実験実習費等のことで収入の大半を占める。
手数料収入	手数料の中心は入学検定料、その他各種証明書の発行手数料などである。
寄付金収入	用途指定のある特別寄付金と用途指定のない一般寄付金がある。
補助金収入	国庫補助金や京都府私学運営費補助金が中心で、学生生徒等納付金に

	次ぐ収入源である。
資産売却収入	有価証券等の売却による収入である。
付随事業・収益事業収入	生徒寮等の教育活動に付随する活動に係る事業の収入である。
受取利息・配当金収入	学園が保有する預金や有価証券等金融資産の受取利息が中心である。
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入であるが、資金の収納が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる収入項目に対応する勘定である。

□支出の部

科目	備 考
人件費支出	教職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費等である。
教育研究経費支出	奨学費、光熱水費、消耗品費、修繕費、旅費交通費、賃借料、印刷製本費、通信費等がある。
管理経費支出	学生生徒募集の広報費や学生生徒の寮関連経費、教職員の福利厚生費、法人業務に関する経費等がある。
施設関係支出	建物や構築物に支出した勘定である。
設備関係支出	教育研究用機器備品や管理用機器備品に支出した勘定である。
資産運用支出	将来の固定資産準備金、有価証券の購入や特定事業目的への繰入額となる「引当特定資産への繰入支出」が中心である。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対応する支出であるが、資金の支出が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる支出項目に対応する勘定である。

【事業活動収支計算書の主な科目の内容】

□事業活動収入の部

科目	備 考
寄付金	資金収支の寄付金収入から施設設備に係る寄付金を除いた額である。
經常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金である。
資産売却差額	資産売却収入が帳簿価額を超える場合の超過額である。
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、現物寄付、施設設備補助金などによる収入である。

□事業活動支出の部

科目	備 考
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額である。
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額である。
資産処分差額	資産を除却した際の除却額等である。

□基本金組入額

科目	備 考
基本金組入額合計	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計である。

2. 当該年度の決算の概要について

ここでは、決算後の本学園の財政状態を確認すべく、その見方の説明を加えながら貸借対照表をみていく。

資産の部

財産の運用状況、つまり使い道のことであり、「固定資産」と「流動資産」に分かれる。校舎、グラウンド、体育館、情報機器、視聴覚機器、図書、マイクロバス等、明德学園の各学校が教育研究活動を進めていくために必要な施設・設備を「固定資産」と呼び、166億円ある。また、経営に必要な資金として、現金預金、有価証券、未収入金等があり、これらを「流動資産」と呼び、53億円ある。これらの資産の合計額、219億円が学園の財産となる。

負債の部

負債の部においても、資産の部と同じように「固定負債」と「流動負債」とに分かれ、退職金、預り金など将来支払わなければならないものがここに含まれる。

純資産の部

純資産の部は、「基本金」と「繰越収支差額」とに分かれる。

「基本金」とは、学校法人が諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、事業活動収入のうちから組み入れる金額のことである。「基本金」は第1号から第4号までに分かれており、第1号基本金は、資産の部にある有形固定資産を自己資金で取得した場合に組入れられるものである。第2号基本金は、施設計画等がある場合にその取得にむけて計画的に組入れられるもので、第1号基本金とともにハード面を目的とした基本金となる。一方、第3号基本金は、学園創立記念奨学基金や教育振興基金など学生生徒や教職員を支援していくために組入れられるソフト面の要素をもつ基本金であり、明德学園ではこの第3号基本金の充実を目指している。第4号基本金は、学校法人の運転資金の額とされている。

「繰越収支差額」とは、事業活動収支計算書の当年度収支差額の累積額である。

この純資産の部は、企業会計で言う資本の部に当たり、正味財産とも言える。本年度末時点において、正味財産が207億円ある。

3. 主な教育環境の整備状況について

京都経済短期大学におけるネットワークセキュリティの強化、京都明德高等学校におけるコンピュータ室の更新、京都成章高等学校における保健室の改装と拡充などを実施し、学生生徒の学習環境の整備を進めている。

4. 財産目録

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位 円)

科 目	年 度 末
I 資 産 額	
(1) 基 本 財 産	9,388,648,072 円
1 土 地	69,095.00 m ² 5,802,002,134 円
2 建 物	33,463.33 m ² 3,145,545,924 円
3 構 築 物	89,772,978 円
4 図 書	73,609 冊 177,841,601 円
5 教 育 研 究 用 機 器 備 品	19,530 点 152,744,440 円
6 管 理 用 機 器 備 品	1,884 点 16,732,473 円
7 車 両	21 台 1,691,018 円
8 電 話 加 入 権	39 口 2,317,504 円
(2) 運 用 財 産	12,473,550,747 円
1 現 金 預 金	4,221,114,936 円
2 積 立 金	7,208,896,526 円
(1) 第 2 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	1,000,000,000 円
(2) 第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	1,345,620,000 円
(3) 減 価 償 却 引 当 特 定 資 産	4,257,423,353 円
(4) 退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	428,809,488 円
(5) 成 章 施 設 整 備 引 当 特 定 資 産	146,043,685 円
(6) 経 短 後 援 奨 学 引 当 特 定 資 産	31,000,000 円
3 有 価 証 券	913,177,510 円
4 未 収 入 金	108,916,532 円
5 前 払 金	20,775,243 円
6 出 資 金	420,000 円
7 差 入 保 証 金	250,000 円
合 計	21,862,198,819 円
II 負 債 額	
(1) 固 定 負 債	428,809,488 円
1 退 職 給 与 引 当 金	428,809,488 円
(2) 流 動 負 債	698,352,073 円
1 未 払 金	108,929,710 円
2 前 受 金	479,522,470 円
3 預 り 金	109,899,893 円
合 計	1,127,161,561 円
III 正 味 財 産 (I - II)	20,735,037,258 円

5. 主な財務比率について

比率	算式	指標 (※1)	全国平均 (※2)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸借対照表								
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	85.5%	81.8%	79.3%	78.3%	77.3%	75.9%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	14.5%	18.2%	20.7%	21.7%	22.7%	24.1%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債＋純資産}}$	▼	6.3%	2.1%	2.1%	1.9%	1.9%	2.0%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債＋純資産}}$	▼	4.7%	3.3%	3.8%	3.6%	3.3%	3.2%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債＋純資産}}$	△	89.0%	94.6%	94.1%	94.5%	94.8%	94.8%
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債＋純資産}}$	△	-28.0%	2.9%	4.0%	5.1%	5.8%	6.3%
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	96.1%	86.5%	84.2%	82.9%	81.5%	80.0%
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}}$	▼	89.7%	84.6%	82.4%	81.2%	80.0%	78.4%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	309.9%	556.7%	545.2%	598.9%	680.2%	753.8%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	11.0%	5.4%	5.9%	5.5%	5.2%	5.2%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	12.4%	5.7%	6.3%	5.9%	5.5%	5.4%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	558.5%	650.9%	661.6%	880.6%	862.2%	880.3%
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	△	56.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	～	60.1%	61.3%	63.1%	64.8%	66.6%	68.5%
事業活動収支計算書								
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	62.7%	51.4%	53.2%	53.5%	53.7%	54.0%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	118.0%	87.8%	94.5%	94.2%	93.7%	94.2%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	32.6%	32.8%	33.4%	32.8%	34.7%	36.2%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	11.8%	5.6%	4.7%	4.7%	5.3%	4.7%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	-4.7%	11.9%	10.1%	9.4%	7.1%	5.5%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組入額}}$	▼	119.0%	92.7%	92.7%	92.7%	95.5%	96.6%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	53.1%	58.6%	56.3%	56.7%	57.4%	57.3%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金(※3)}}{\text{事業活動収入}}$	△	2.7%	0.8%	0.8%	0.5%	0.5%	0.3%
補助金比率	$\frac{\text{補助金(※4)}}{\text{事業活動収入}}$	△	32.0%	33.3%	35.2%	33.1%	34.5%	34.9%
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	12.0%	5.0%	3.1%	2.3%	2.8%	2.2%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	～	11.3%	7.8%	8.1%	8.1%	7.9%	7.6%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	-7.4%	10.1%	8.8%	9.1%	6.3%	5.2%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△	-11.5%	7.0%	5.5%	5.7%	2.4%	1.1%
活動区分資金収支計算書								
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△	-0.4%	16.7%	16.3%	10.5%	10.3%	9.1%

※1 指標は「△：高い値がよい」・「▼：低い値がよい」・「～：どちらともいえない」を示す

※2 日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」令和6年度 短大法人の部より記載

※3 寄付金＝教育活動収支の寄付金＋特別収支の施設設備寄付金及び現物寄付

※4 補助金＝経常費等補助金＋施設設備補助金

IV 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要について

1. 関係する決議の概要について

令和6年度第9回理事会（令和6年12月20日開催）において、「学校法人明德学園 内部統制システム整備の基本方針」を策定した。また、「文書取扱規程」と「文書保存規程」を統合して、「文書管理規程」を新たに制定したことに伴い、令和7年度第14回理事会（令和8年3月27日開催）において一部改定を行った。

2. 体制整備及び運用状況の概要について

（1）理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

下記の規程等を整備した。

- ・学校法人明德学園 理事会規程（令和7年4月1日改定）
- ・学校法人明德学園 文書管理規程（令和8年4月1日施行）
- ・学校法人明德学園 文書等取扱要領（令和5年7月28日改定）

（2）損失の危険の管理に関する規程その他の体制

下記の規程に基づき、運用している。

- ・学校法人明德学園 リスク管理規程（令和7年4月1日施行、7月25日改定）

（3）理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

下記の規程を整備した。

- ・学校法人明德学園 常任理事会規程（令和7年4月1日改定）

（4）教職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制

下記のマニュアルを整備した。

- ・学校法人明德学園 教職員コンプライアンス・マニュアル（令和7年2月28日改定）

（5）監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

下記の規則を整備した。

- ・学校法人明德学園 監事監査規則（令和7年4月1日改定）

V 附属明細書

- ・事業報告書の内容を補足する重要な事項について

該当なし